

複合散布機

取扱説明書

UXK-55F10



複合散布機をご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。
必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 たいしよー

■ 安全に作業をするために

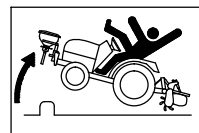


警告

複合散布機装着後のトラクターの運転は慎重にする

【守らないと】

特に、畦などの段差を乗り越える際には、トラクタ本体のバランスを損ない、転落事故をおこす恐れがあります。



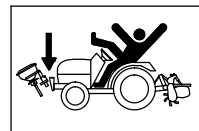
警告

複合散布機のヒッチ部分のボルトは確実に締める

ご使用になる時は、毎回必ずボルトのゆるみがないことを確認して下さい。

【守らないと】

ヒッチ部分のボルトがゆるんでいると、複合散布機が脱落し、事故をまねく恐れがあります。

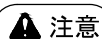


注意

電源コードの取付けは、トラクタのエンジンやマフラーなどの高温になる部分に触れないように又、トラクターの舵取り機構など動くところに巻き込まれないようにする

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。



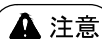
注意

複合散布機の取付け、取外しは平らな所で行う

また、取付け、取外しの際は、薬剤散布部を取外してから行う（P. 20参照）

【守らないと】

散布機のバランスが悪いため、転倒などの事故をおこす恐れがあります。

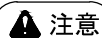


注意

複合散布機を装着したトラクターで一般道路を走行する場合は、法律を順守する

【守らないと】

道路運送車両法、道路交通法に違反します。

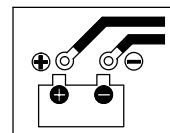


注意

バッテリーへの接続は正しい手順で行う（接続は＋側を先に接続する）

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

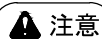
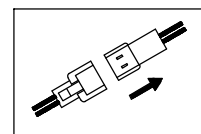


注意

保守・点検・整備の時は必ずコネクターを外す

【守らないと】

機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。



注意

複合散布機を使用する時は、防塵マスクなどを身に付ける

【守らないと】

肥料を吸引すると健康を損なう恐れがあります。



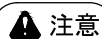
注意

薬剤散布機を使用する時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用すること。

特に、ホッパーへ薬剤を投入する際には薬剤の吸引や肌への接触を避けられるような服装で行って下さい。

【守らないと】

薬剤を吸引したり、肌に触れると健康を損なう恐れがあります。



注意

散布機やスタンドのボルト、ピン類は確実に固定する。

【守らないと】

機械が外れたり落下してケガをする恐れがあります。



注意

機械の改造禁止

複合散布機を改造して使用しないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

■ 使用上の注意

下記のような肥料は散布できません。ホッパー投入前にご確認下さい

「肥料散布部」

- ・形状の大きい肥料
粒径6ミリ以上の肥料や、長さ10ミリ以上のペレット肥料
- ・湿った肥料
- ・流れの悪い肥料
米ぬかのように滑り落ちづらく、ホースに詰まりやすい肥料
- ・粉状の肥料
石灰及び粉状の肥料

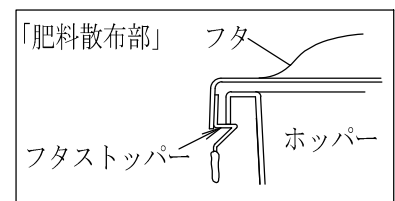
「薬剤散布部」

- ・微粒剤以外のもの
粒状肥料・砂状肥料・ペレット
- ・粉状のもの
粉状薬剤、石灰のようなブリッジするようなもの
- ・湿り気のあるもの
手で握ると固まった状態になってしまうもの、または塊になってしまったもの
- ・流れの悪いもの
滑り落ちづらく、ホースに詰まりやすいもの
ビーラム粒剤、ネビリュウ等

ホッパーのフタは確実に締める

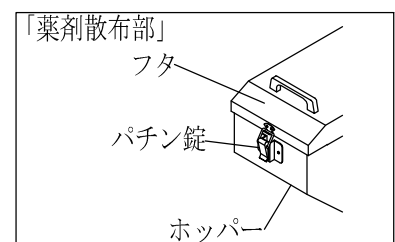
「肥料散布部」

- ・フタストッパーがホッパーのふちに確実にかかっているか確認して下さい。
(1ホッパーに2箇所)



「薬剤散布部」

- ・薬剤散布部の場合は、ホッパー側面のパチン錠を締めて下さい。
(1ホッパーに1箇所)

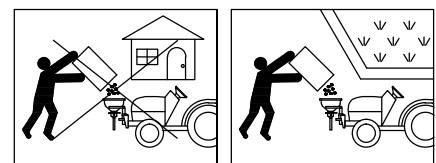


【守らないと】

フタが飛ばされてしまいます。

肥料および薬剤の投入は圃場で行って下さい

肥料や薬剤を事前に投入して、路上走行などをすると肥料や薬剤が振動等により押し固められて散布機が故障する原因となります。



ホッパーには肥料や薬剤以外の物は投入しないで下さい。

また、ホッパーへ肥料および薬剤を投入する際は、電源スイッチを切ってください。

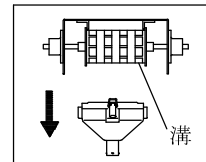
作業終了後はホッパー内の肥料および薬剤を完全に排出して下さい

ホッパー内に肥料や薬剤が残っていると、吸湿作用により固着して散布機が故障する原因となります。

雨天時には散布機は使用できません

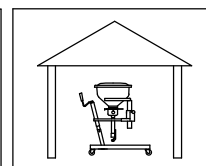
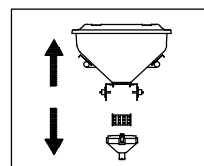
連続して作業を行う場合には、ロールの溝をていねいに掃除してください

ロールの溝が詰まった状態になると誤量散布の原因になります。



長期保管の前には分解掃除をして下さい

保管は屋内など電気系統に水がかからない場所にして下さい。



繰り出し部オープン機構の操作は正しい手順で行って下さい

メンテナンスの時以外は、必ずロックピンでロール受けを固定してください。（P. 17 参照）

【守らないと】

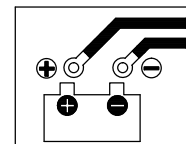
機械が変形し、故障の原因になります。

あぜごえ跳ね上げ機構の操作は正しい手順で行って下さい

アームを低い位置で組み付けているときやホースの長さが短いと、ササエが持ち上げ難いことがあります。その場合は、ホースをササエから外してから跳ね上げ機構を使用して下さい。（P. 19 参照）

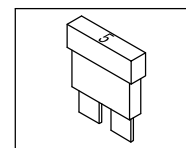
バッテリーへの接続は⊕⊖を間違えないで下さい

逆接続では散布機は動作しません。

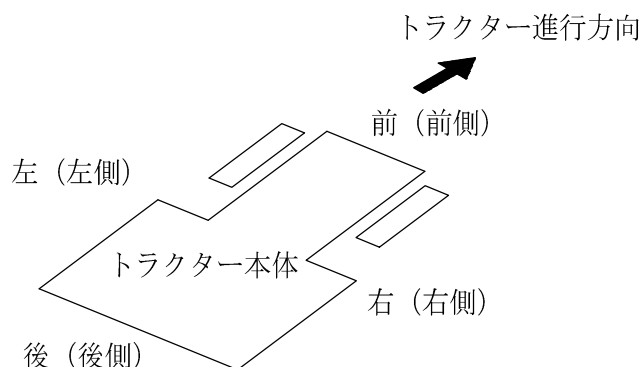


ヒューズは指定の容量を使用して下さい

使用しているヒューズは平型 5 A です。
ヒューズが切れた場合は、過負荷の原因を取り除いてからヒューズを交換して下さい。



取扱い説明書中の前・後・左・右の位置関係は下図を参照ください。

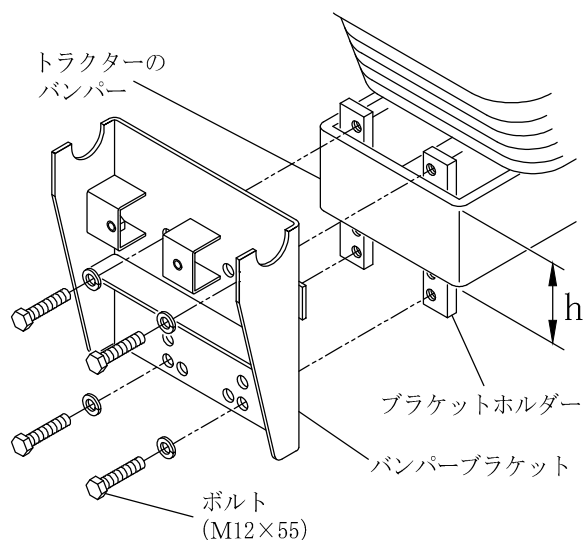


〈組立要領〉

■ バンパーブラケットの取付け方

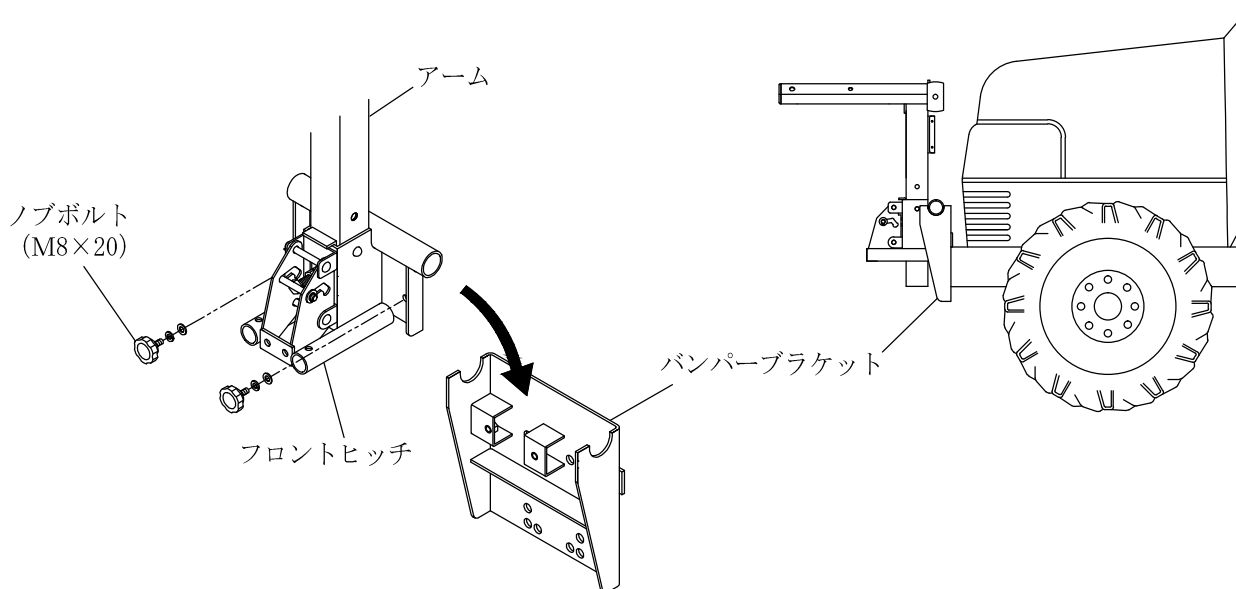
(1) バンパーブラケットとブラケットホルダーでトラクターのバンパーを図の様に挟み込んで締め付けます。

- バンパーのh寸法が100mm以下の場合は、間隔の狭い方の穴を使用して下さい。
- フロントバンパーがフロントヘッド部より引っ込んでいる場合や弱い場合は、別売りのアダプターを使用して下さい。
- 化粧バンパーのあるトラクターは化粧バンパーを取り外して下さい。

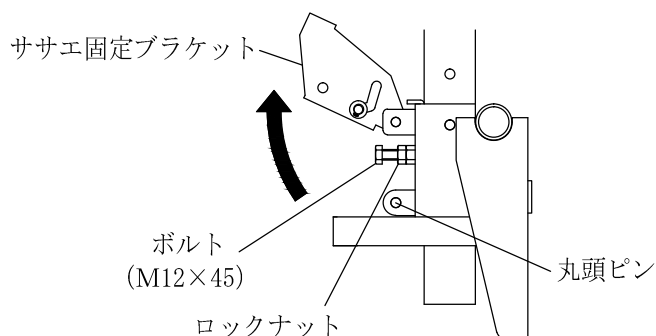


■ 本体のトラクターへの装着

(1) フロントヒッチをバンパーブラケットに載せて、ノブボルトで固定します。

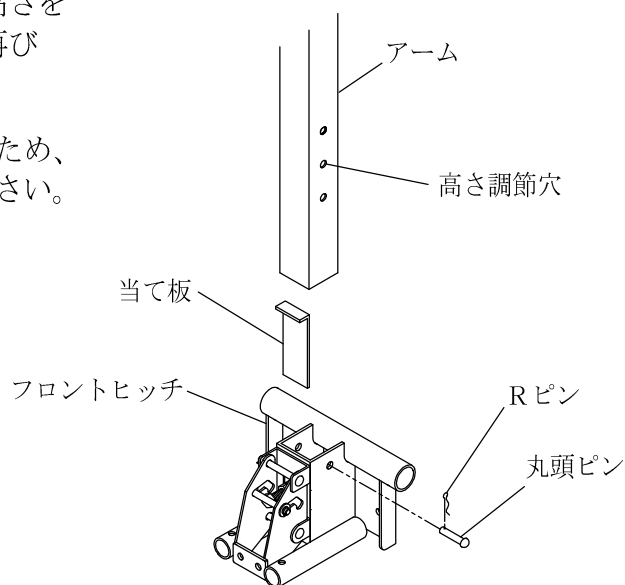


(2) アームの高さを調整するときは、ササエ固定ブラケットを固定している丸頭ピンとRピンを外し、ササエ固定ブラケットを下図の様に持ち上げます。



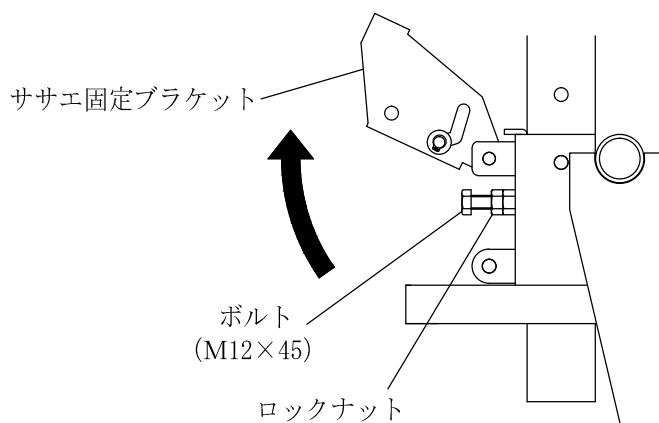
- (3) ボルトとロックナットを緩めてから、アームを固定している丸頭ピンとRピンを外して、散布巾に応じて取り付け高さを調節します。高さが決まったら、丸頭ピンとRピンを再び差し込んで固定して下さい。(図1)

※アームの高さが低いと薬剤がホース内で滞留しやすいため、高さ調節穴の一番下の穴か、中間の穴で取り付けして下さい。



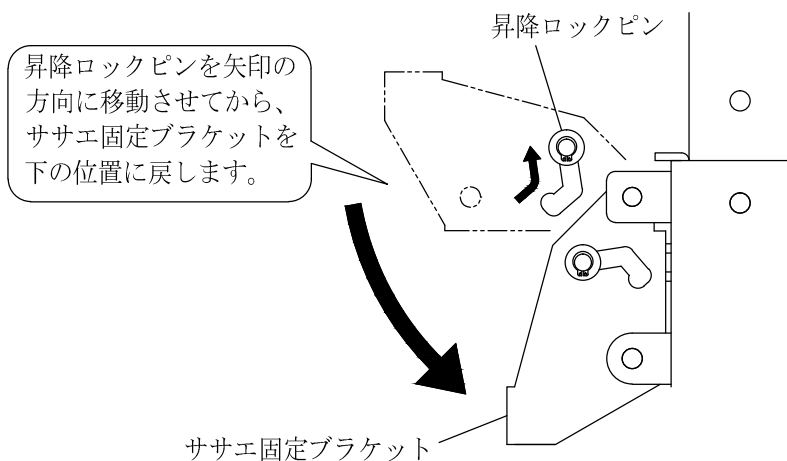
【図 1】

- (4) ササエ固定ブラケットを図2の様に持ち上げ、アームがガタつかない様にボルトとロックナットを締め付けて固定して下さい。

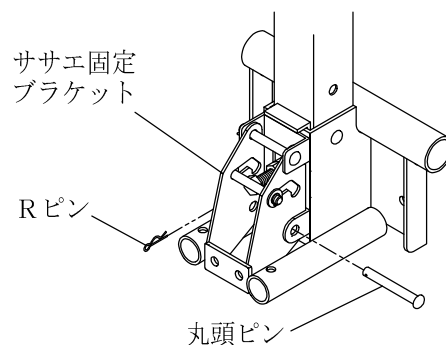


【図 2】

- (5) 昇降ロックピンを図3の様に矢印の方向に移動させてからササエ固定ブラケットを下の位置に戻し、図4の様に丸頭ピンとRピンを差し込みササエ固定ブラケットを固定して下さい。



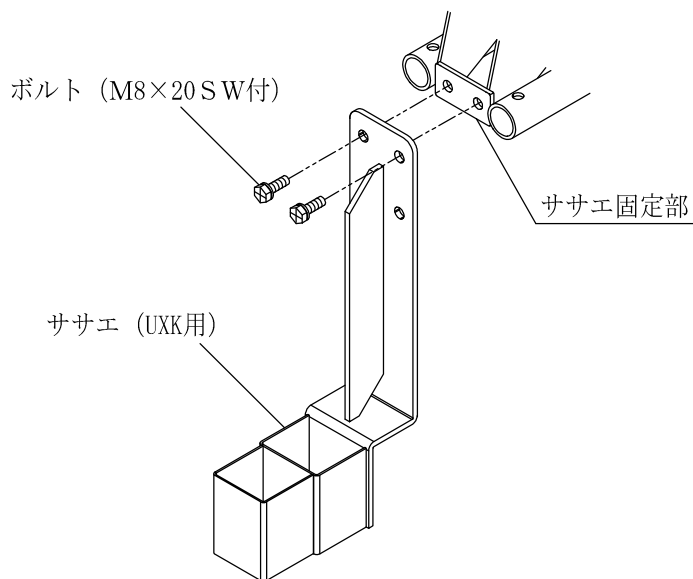
【図 3】



丸頭ピンとRピンを差し込み
ササエ固定ブラケットを固定する。

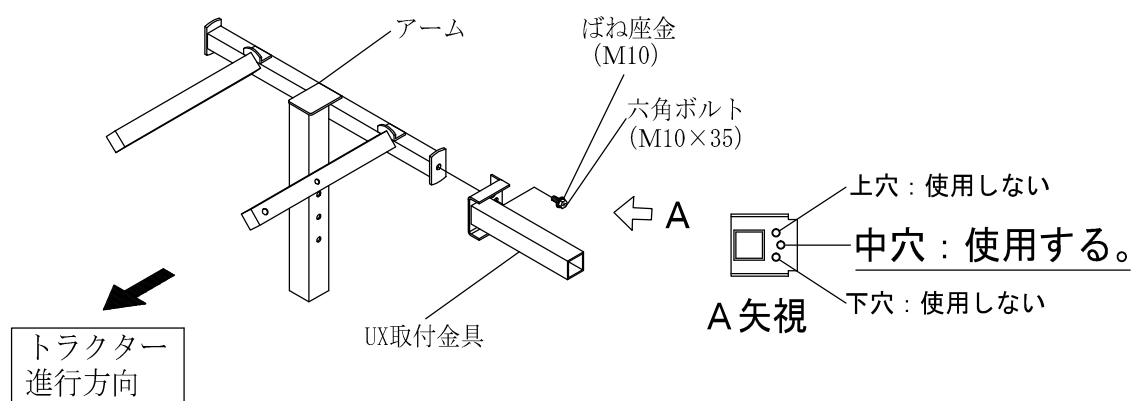
【図 4】

(6) ササエ (UXK用) をササエ固定部にボルトで固定します。



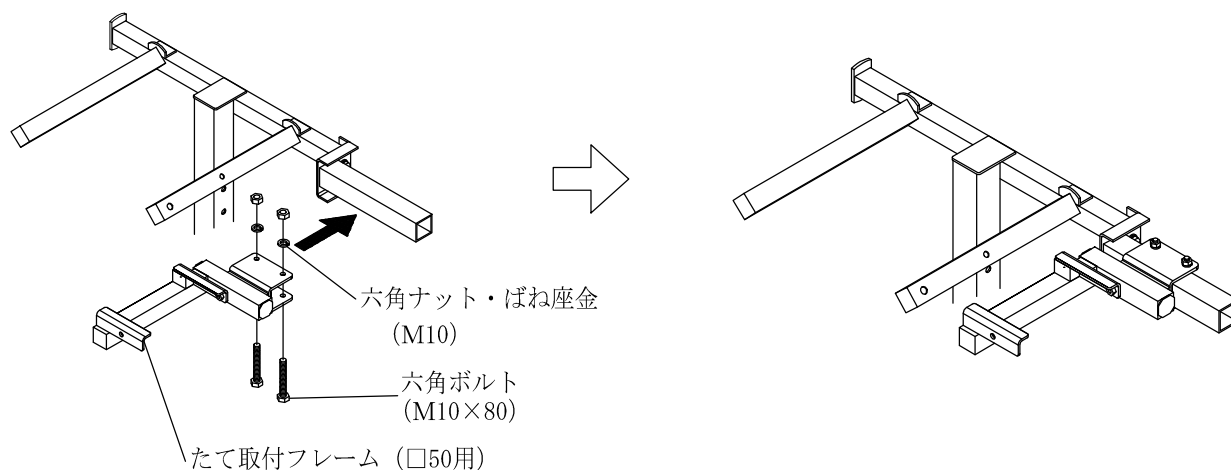
(7) 肥料散布機のアームにUX取付金具を進行方向左側にボルトで固定して下さい。

※UX取付金具には3箇所に取付用の穴がありますが、取付には中央の穴を使います。



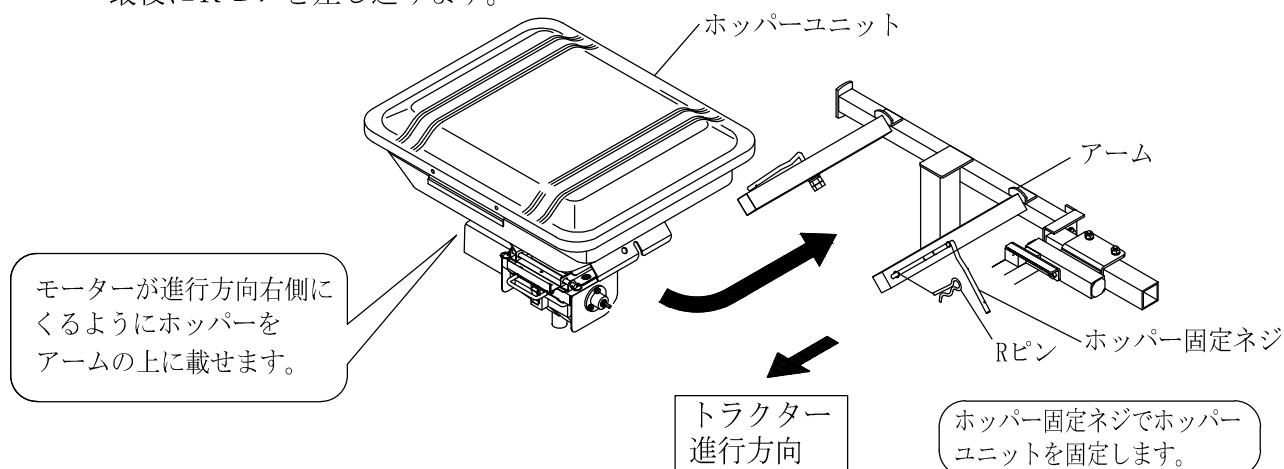
(8) UX取付金具にたて取付フレーム (□50用) をボルトとナットで固定して下さい。

※薬剤散布部のホッパーが肥料散布部のホッパーに干渉しない位置に取り付けて下さい。



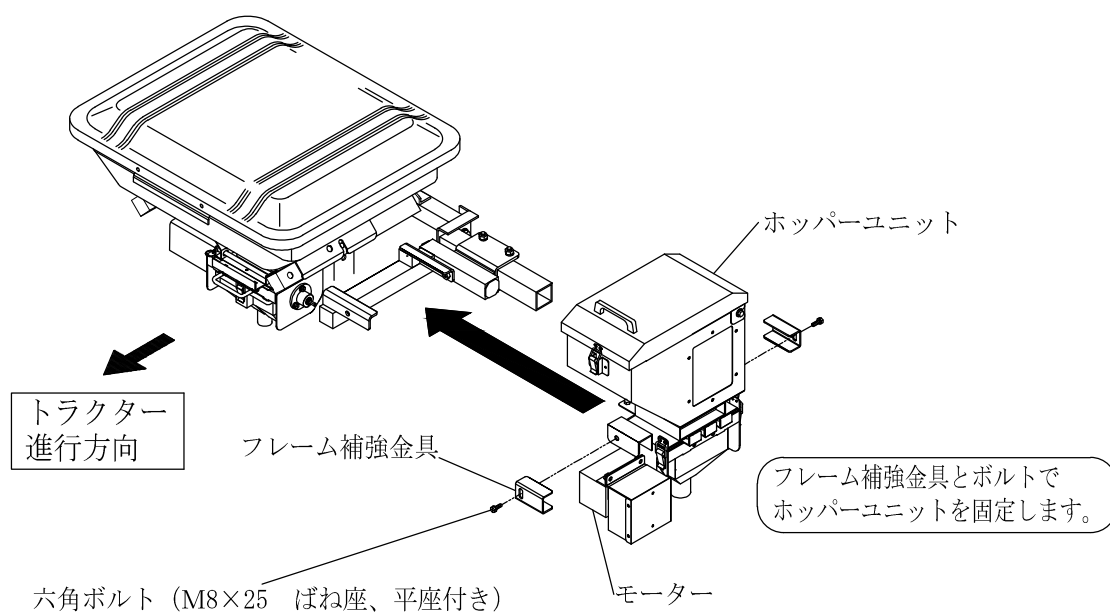
■ ホッパーユニットの取り付け(肥料散布部)

- (1) モーターが進行方向右側にくるようにホッパーユニットをアームの上に載せます。
- (2) ホッパー固定ネジでホッパーユニットを固定し最後にRピンを差し込みます。

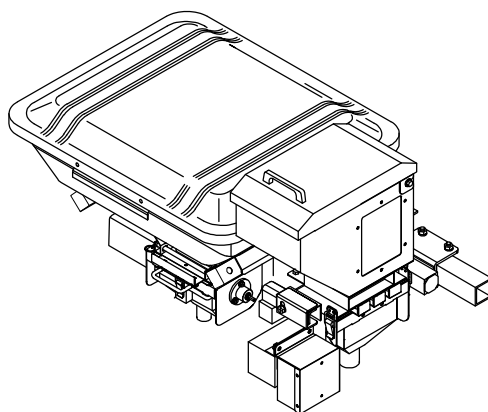


■ ホッパーユニットの取り付け(薬剤散布部)

- (1) モーターが進行方向前側にくるようにホッパーユニットをフレームに載せます。
- (2) フレーム補強金具を取り付け、ボルトで固定します。

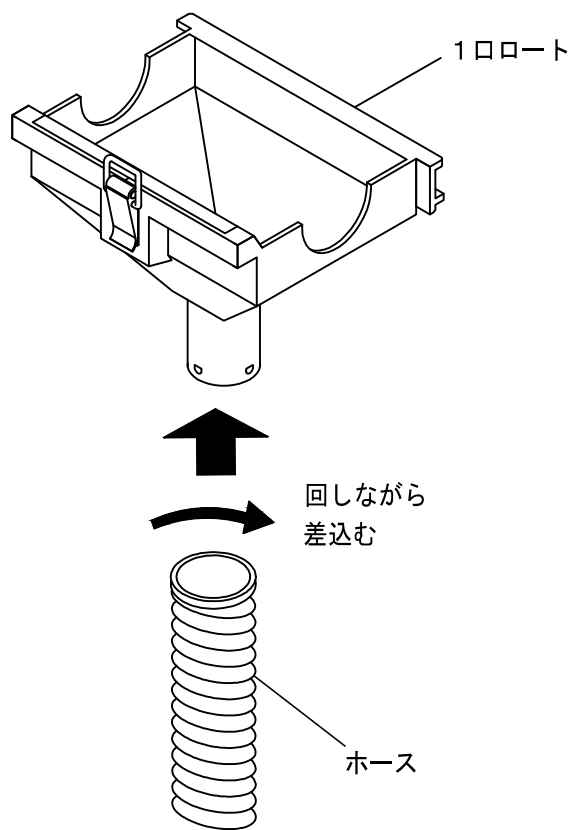


■ 組立完成



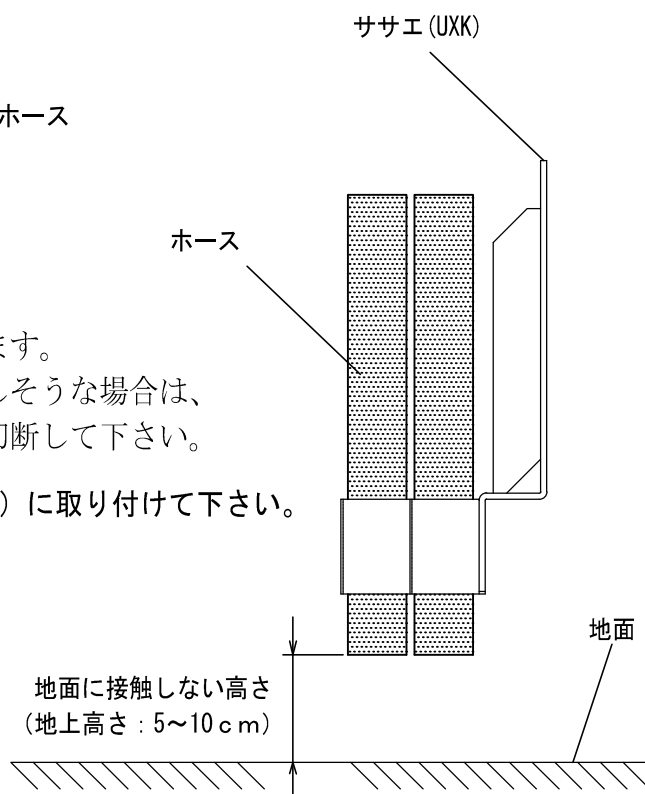
■ホースの取り付け

- (1) ロートにホースを回しながら差し込みます。
(外す時も同じ方向に回しながら引き抜きます)



- (2) ホースは地面に接触しない位置に取り付けます。
ホースの傾きが大きくて薬剤が流れず滞留しそうな場合は、
本体アームの高さを調節してからホースを切断して下さい。

※ ホースはたるみが出ないようにササエ（UXK用）に取り付けて下さい。



■ホース取り付け上の注意

ホースを長いまま使用すると、ホースが地面に接触して、
散布作業が正しく行えません。

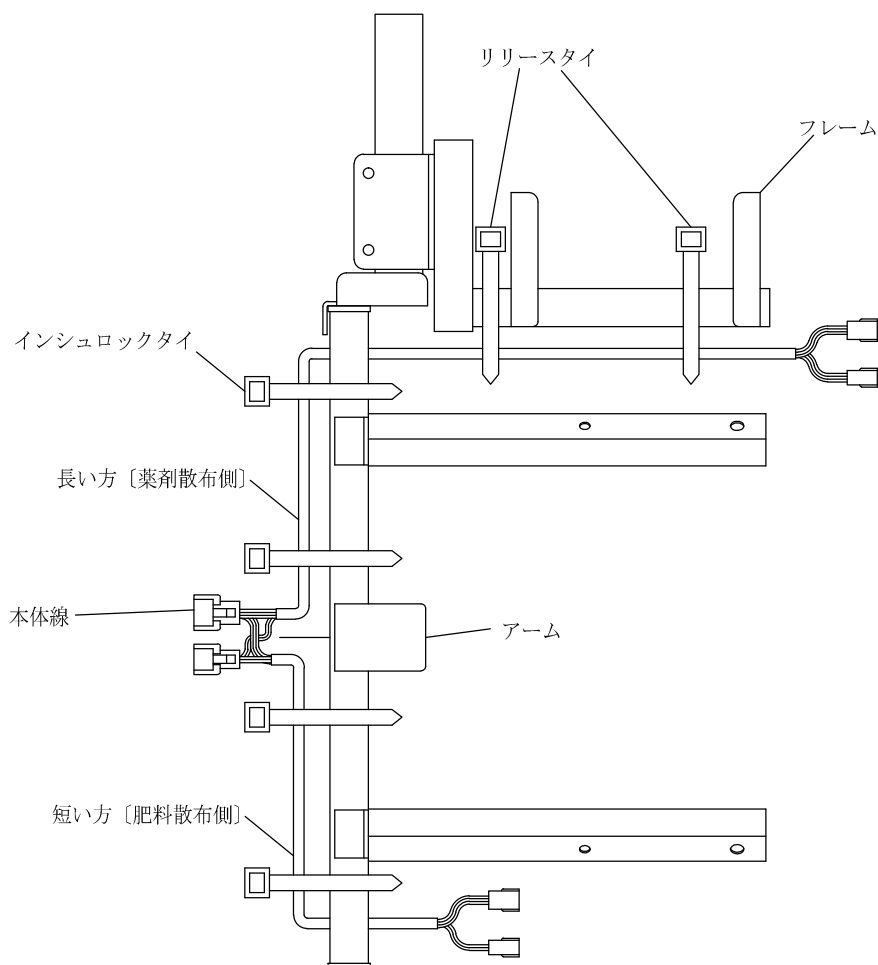
ホース長さはアームとヒッチの組み付け穴位置により変わる為、
長くなっています。

※ホースにたるみが無いように取り付けを行い、たるみがある場合は切断して下さい。

■ 本体線取り付け

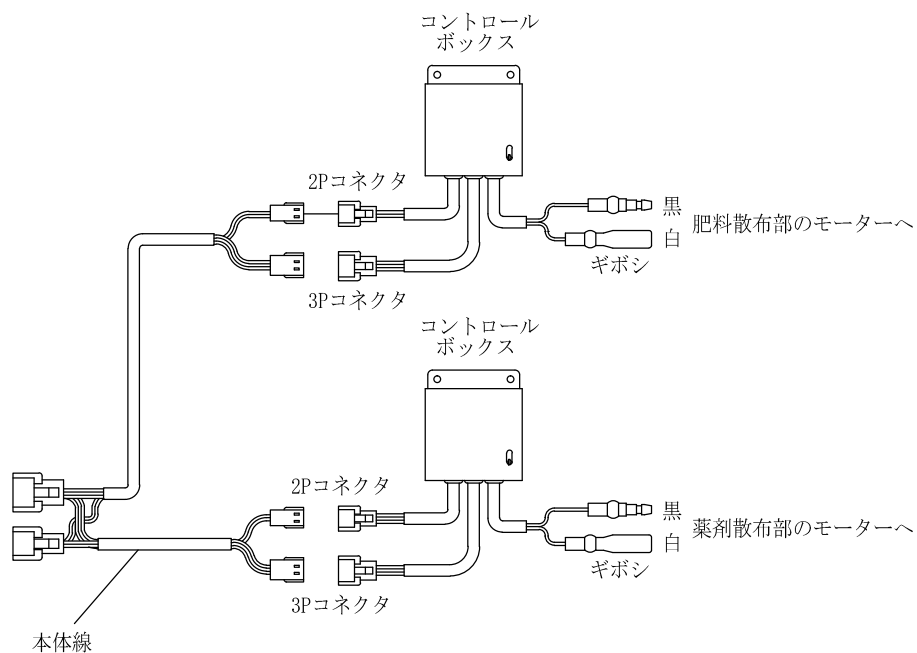
- (1) 本体線を散布機のアームにインシュロックタイで取り付ける。
また、フレームにはリリースタイで取り付ける。

※下記の図を参考に本体線を取り付けて下さい。



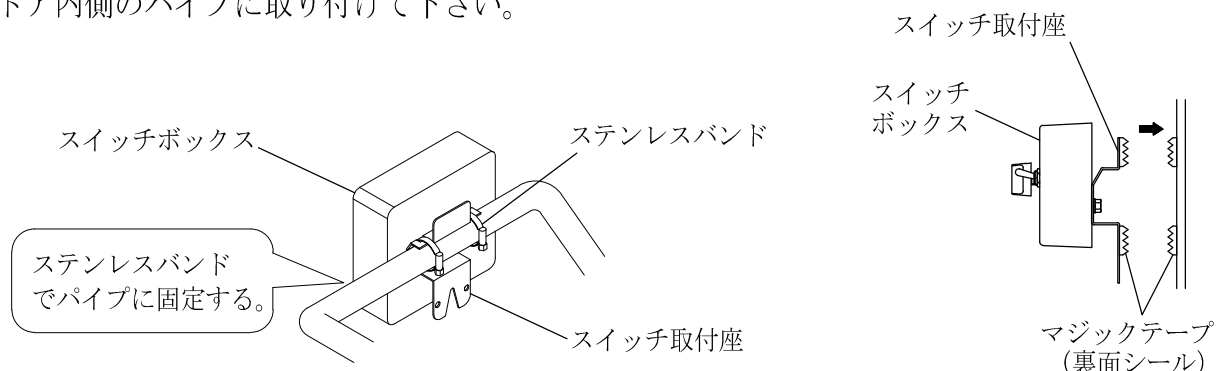
- (2) 本体線をコントロールボックスのコネクタに接続します。

※下記の図を参考にコネクタを取り付けて下さい。



■ ケーブルの接続

- (1) スイッチボックスを運転席の操作しやすい所に取り付けて下さい。
トラクタのフェンダーの取手などを利用して取り付けると便利です。
また、ボルト、ナット等で取り付けられない場合は、付属のマジックテープを使い、キャビンのガラス等の平らな面に取り付けたり、付属のステンレスバンドを使ってドア内側のパイプに取り付けて下さい。

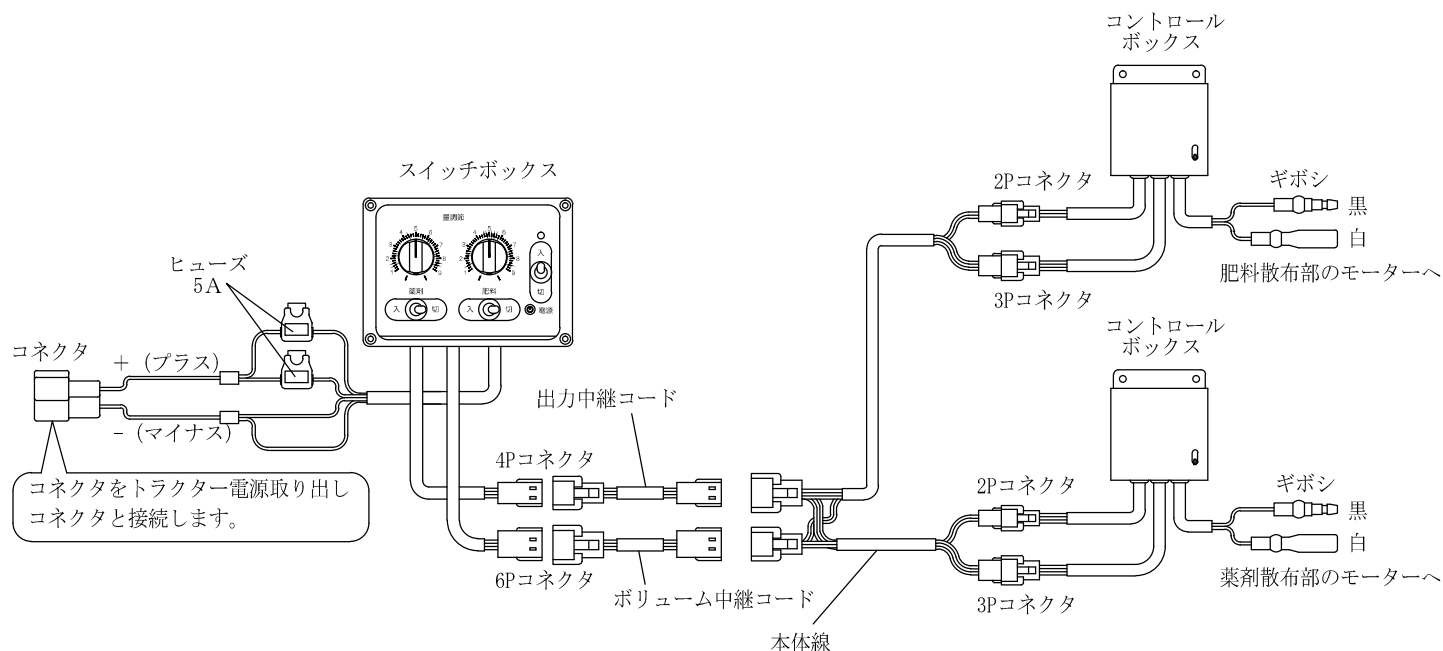


- (2) スイッチボックスの電源コネクタをトラクタの電源取り出しコネクタに接続します。
- (3) スイッチボックス、出力中継コード、ボリューム中継コード、本体線のコネクタを接続します。

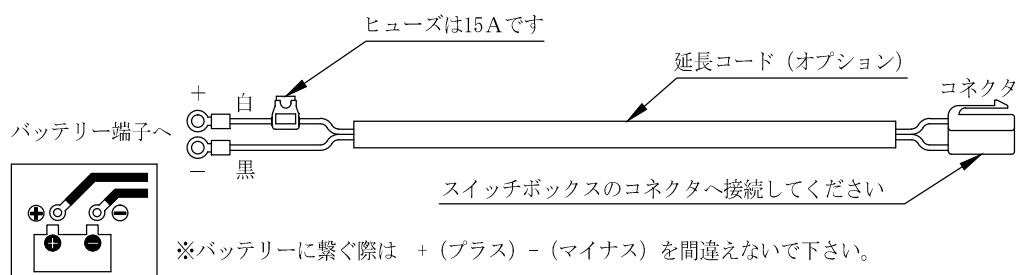
※ケーブルの取り付けにはゆとりを持たせ、トラクタの高温部や舵取り機構などの可動部、板の鋭端部を避けて取り付けして下さい。

※トラクタ電源取り出しコネクタが無い場合は、オプションの延長コードを別途買い求めください。

※バッテリーの接続は確実に行って下さい。接続が悪いと動作不良の原因となります。



オプション (別売)



■ 散布要領 (試運転含む)

組み付け、配線が完了しましたら、トラクターのエンジンを始動させて下さい。

- (1) 肥料と薬剤の散布量を調節ツマミで調節します。
目盛りはP. 12~14 の『散布量目盛りの決め方』
を参考に決めて下さい。

※ 表に記載されている10a当りの散布量は
すべてのシャッターが全開になっている時の
散布量になります。

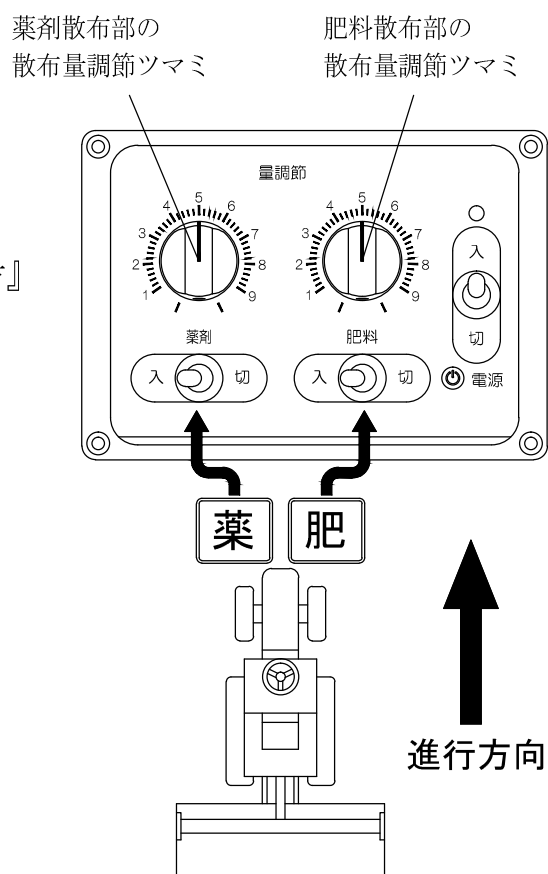
- (2) 各ホッパーごとのスイッチを入にします。
各ホッパーごとのスイッチで、作業状況に
よってのホッパーごとの播き分けが可能です。

- (3) 電源のスイッチを入にすると、モーターが回り
肥料と薬剤の散布が行えます。

※ 散布を開始する際には、シャッターを開けて下さい。
シャッターの開け方はP. 15の「シャッターの使用について」を
参考にして開けて下さい。

※ 肥料は必ず圃場で投入して下さい。肥料を入れたまま
走行すると、振動等により肥料がしまりヒューズ切れ
などの故障の原因になります。

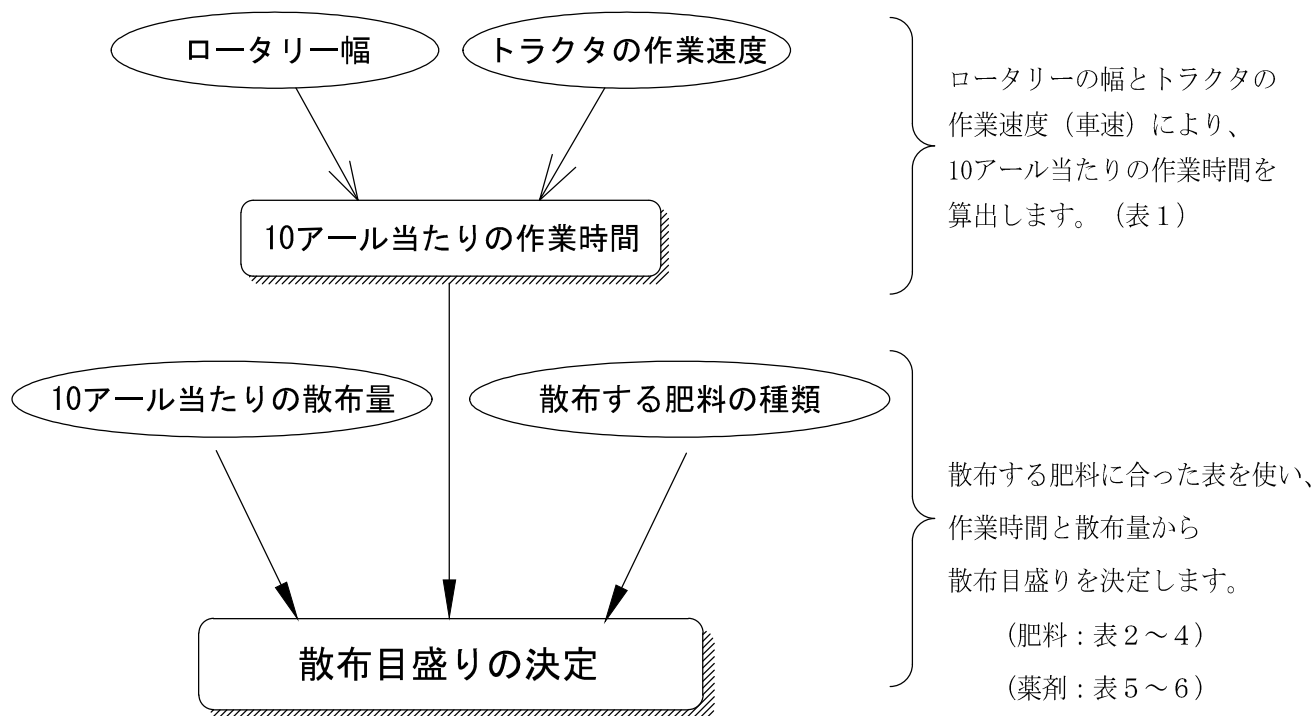
※ 作業終了後の手元スイッチの切り忘れにご注意ください。



■ 散布量目盛の決め方

※肥料や薬剤の形状、比重等によって散布量は変わります。

表で求めた目盛りは目安ですので、必ず実際の散布（１０アール位）後に目盛りを決めて下さい。



■ 表１ １０アール当たりの作業時間

（例）ロータリー幅が 1600 [mm] で車速が 2.3 [km/h] の場合、10アール当たりの作業時間は 17 [分] となります。

車速[km/h] ロータリー幅[mm]	1.0	1.2	1.5	1.7	2.1	2.3	2.5	2.8	3.0	3.6	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
800	86 _分	71	57	50	41	37	34	31	29	24	21	19	17	16	14
1000	67	56	44	39	32	29	27	24	22	19	17	15	13	12	11
1200	55	45	36	32	26	24	22	19	18	15	14	12	11	10	9
1300	50	42	33	29	24	22	20	18	17	14	12	11	10	9	8
1400	46	38	31	27	22	20	18	16	15	13	12	10	9	8	8
1500	43	36	29	25	20	19	17	15	14	12	11	10	9	8	7
1600	40	33	27	24	19	17	16	14	13	11	10	9	8	7	7
1700	37	31	25	22	18	16	15	13	13	10	9	8	8	7	6
1800	35	29	24	21	17	15	14	12	12	10	9	8	7	6	6
2000	32	26	21	19	15	14	13	11	11	9	8	7	6	6	5
2200	29	24	19	17	14	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5
2400	26	22	17	15	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5	4

※ ターン等の時間は含んでおりません。

作業時間はロータリーの重ねしろ（両端で１０センチ）を考慮して算出しています。

〔肥料散布部〕

■ 表2 粒状化成（中粒）の散布目盛り

参考肥料：陸稲、水稻専用
肥料12-16-14

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、散布する肥料の量が 60 [Kg] の場合、目盛りは 7.3 となります。

10a当りの散布量		20kg	30kg	40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	4分	9.2									
	6分	6.2	8.8								
	8分	4.9	7.8								
	10分	3.7	6.0	8.4							
	12分	2.9	4.9	6.8							
	14分	2.4	4.0	5.7	9.0						
	17分	1.8	3.2	4.5	7.3	10.0					
	21分	1.3	2.4	3.5	5.7	7.9					
	25分		1.9	2.8	4.7	6.5	8.4				
	30分		1.4	2.2	3.7	5.3	6.8	8.4			
	36分		1.0	1.7	2.9	4.2	5.5	6.8	8.8		
	43分			1.2	2.3	3.4	4.5	5.6	7.2	9.9	
	52分				1.8	2.6	3.5	4.4	5.8	8.0	
	62分				1.3	2.1	2.8	3.6	4.7	6.6	8.4
	75分					1.6	2.2	2.8	3.7	5.3	6.8
	90分					1.1	1.7	2.2	2.9	4.2	5.5

■ 表3 ケイカル（砂状）の散布目盛り

参考肥料：鹿島ケイカル1号

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、散布する肥料の量が 100 [Kg] の場合、目盛りは 7.1 となります。

10a当りの散布量		40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg	300kg	400kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.9									
	8分	6.0	9.1								
	10分	4.8	7.3	9.8							
	12分	3.9	6.0	8.1							
	14分	3.3	5.1	6.9	8.7						
	17分	2.7	4.2	5.6	7.1	8.6					
	21分	2.1	3.3	4.5	5.7	6.9	8.7				
	25分	1.8	2.8	3.8	4.8	5.8	7.3	9.8			
	30分	1.4	2.3	3.1	3.9	4.8	6.0	8.1			
	36分	1.1	1.8	2.5	3.2	3.9	5.0	6.7	8.4		
	43分		1.5	2.1	2.7	3.2	4.1	5.6	7.0	8.5	
	52分		1.2	1.7	2.2	2.6	3.4	4.6	5.8	7.0	9.4
	62分			1.4	1.8	2.2	2.8	3.8	4.8	5.8	7.8
	75分			1.1	1.4	1.8	2.3	3.1	3.9	4.8	6.4
	90分				1.1	1.4	1.8	2.5	3.2	3.9	5.3

■ 表4 ヨウリン（砂状）の散布目盛り

参考肥料：中国ヨウリン

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、散布する肥料の量が 100 [Kg] の場合、目盛りは 6.9 となります。

10a当りの散布量		40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg	300kg	400kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.6									
	8分	5.8	8.9								
	10分	4.5	7.0	9.5							
	12分	3.7	5.8	7.8	9.9						
	14分	3.1	4.9	6.6	8.4						
	17分	2.4	3.9	5.4	6.9	8.3					
	21分	1.9	3.1	4.3	5.5	6.6	8.4				
	25分	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	7.0	9.5			
	30分	1.2	2.0	2.8	3.7	4.5	5.8	7.8	9.9		
	36分		1.6	2.3	3.0	3.7	4.7	6.4	8.2	9.9	
	43分		1.2	1.8	2.4	3.0	3.9	5.3	6.8	8.2	
	52分			1.4	1.9	2.4	3.1	4.3	5.5	6.7	9.1
	62分			1.1	1.5	1.9	2.5	3.5	4.5	5.5	7.6
	75分				1.2	1.5	2.0	2.8	3.7	4.5	6.2
	90分					1.2	1.6	2.3	3.0	3.7	5.1

〔薬剤散布部〕

■ 表5 バスアミド（ガスタード）の散布目盛り

（例）10アール当たりの作業時間が 17 [分]で、散布する薬剤の量が 20 [Kg]の場合、目盛りは 5.3 となります。

10a当たりの散布量		5kg	10kg	15kg	20kg	25kg	30kg	35kg	40kg	45kg	50kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	4分	5.8									
	6分	3.8									
	8分	2.7	5.8								
	10分	2.2	4.5	7.3							
	12分	1.9	3.8	5.8							
	14分	1.6	3.1	4.8	6.8						
	15分	1.4	2.9	4.5	6.3	8.8					
	17分	1.2	2.6	4.0	5.3	7.1					
	21分		2.1	3.1	4.3	5.4	6.8				
	25分		1.8	2.6	3.6	4.5	5.5	6.6	8.2		
	30分		1.4	2.2	2.9	3.8	4.5	5.3	6.3	7.3	
	36分			1.9	2.4	3.0	3.8	4.4	5.0	5.8	6.6
	43分			1.5	2.1	2.5	3.0	3.6	4.2	4.7	5.2
	52分				1.7	2.1	2.5	2.9	3.4	4.0	4.3
	62分				1.4	1.8	2.1	2.4	2.8	3.2	3.6
	75分					1.4	1.8	2.1	2.3	2.6	2.9
	92分						1.4	1.7	1.9	2.2	2.4

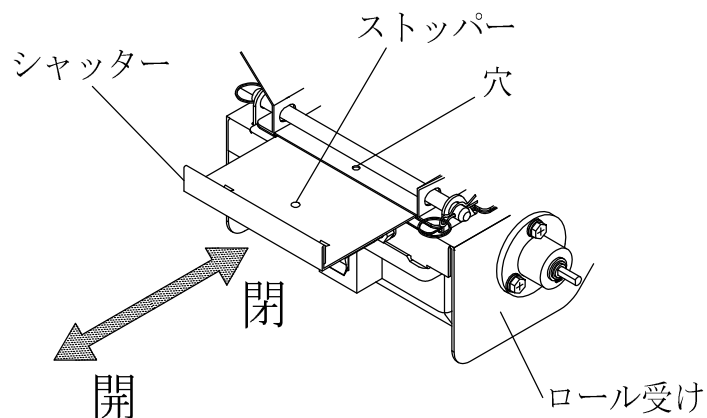
■ 表6 ネマトリンエースの散布目盛り

（例）10アール当たりの作業時間が 17 [分]で、散布する薬剤の量が 20 [Kg]の場合、目盛りは 3.6 となります。

10a当たりの散布量		5kg	10kg	15kg	20kg	25kg	30kg	35kg	40kg	45kg	50kg	65kg	80kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	4分	3.9											
	6分	2.4	5.3	8.0									
	8分	1.7	3.9	6.0	8.0								
	10分	1.3	3.0	4.8	6.4	8.0							
	12分	1.1	2.4	3.9	5.3	6.7	8.0						
	14分		2.0	3.2	4.5	5.7	7.0	8.0					
	15分		1.8	3.0	4.2	5.3	6.4	7.5	8.5				
	17分		1.6	2.6	3.6	4.7	5.6	6.7	7.6	8.4			
	21分		1.3	2.0	2.8	3.6	4.5	5.3	6.0	7.0	7.7		
	25分		1.0	1.6	2.3	3.0	3.7	4.4	5.1	5.7	6.4	8.3	
	30分			1.3	1.9	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.3	7.1	8.5
	36分				1.5	1.9	2.4	2.9	3.4	3.9	4.4	5.7	7.2
	43分				1.2	1.6	2.0	2.3	2.8	3.2	3.5	4.8	5.9
	52分					1.3	1.6	1.9	2.2	2.5	2.9	3.9	4.9
	62分						1.3	1.5	1.8	2.1	2.3	3.2	4.0
	75分							1.2	1.4	1.6	1.9	2.5	3.2
	92分								1.1	1.3	1.5	2.0	2.5

■ シャッターの使用について（肥料散布部）

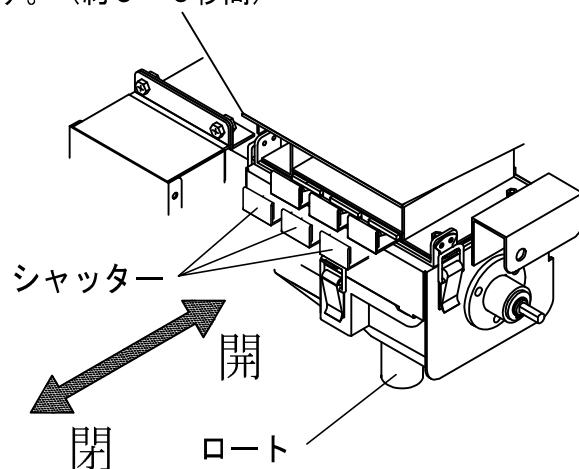
- (1) シャッターを閉めると、そのロートから出ているホースの肥料散布を停止することが出来ます。
- ※ シャッターを閉めても、ロールの中に入っている肥料は排出されます。
- ※ シャッターのストッパーがロール受けの穴に入るまで確実に押し込んで下さい。
- ※ シャッターを開ける時もストッパーがロール受けの穴に入るまで確実に引き出して下さい。（シャッターにはストッパーが前後2個あります。）



■ シャッターの使用について（薬剤散布部）

- (1) シャッターは3つあります。
- (2) シャッターの開閉は、ストッパーが効くまで行なって下さい。
- (3) P 1 4に記載されている散布量の表はシャッターを3つ全て開いた時の数値になります。

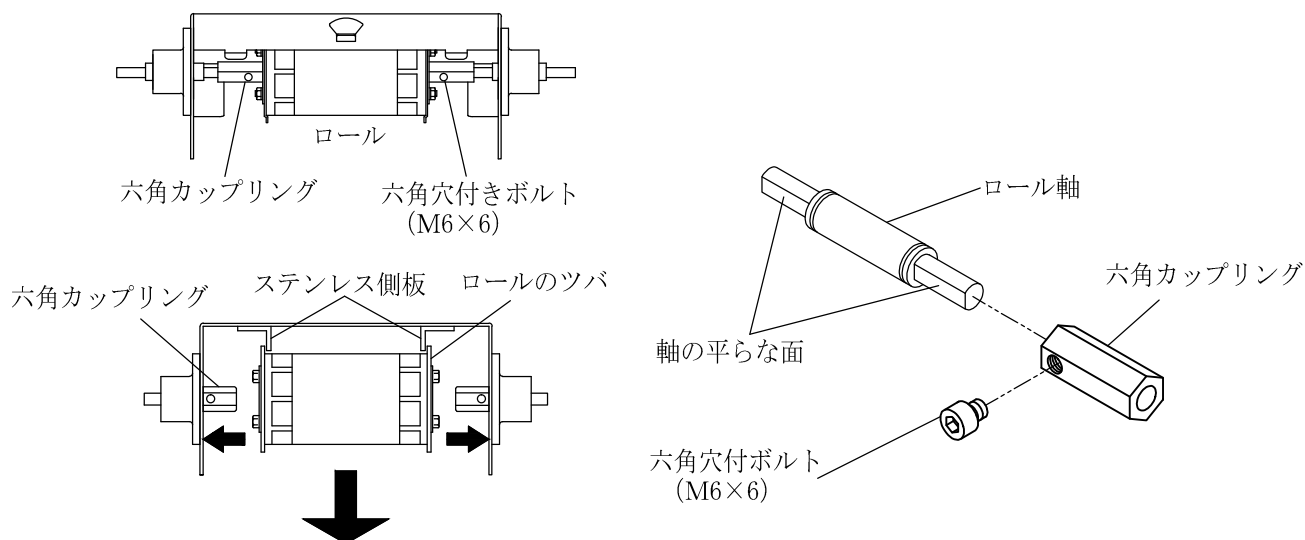
- ※ シャッターを閉めても、ロールの中に入っている薬剤は排出されます。（約5～6秒間）



※肥料散布部と薬剤散布部のシャッターは開閉方向が逆になります。
シャッターの開閉時にはご注意ください。

■ ロールの外し方

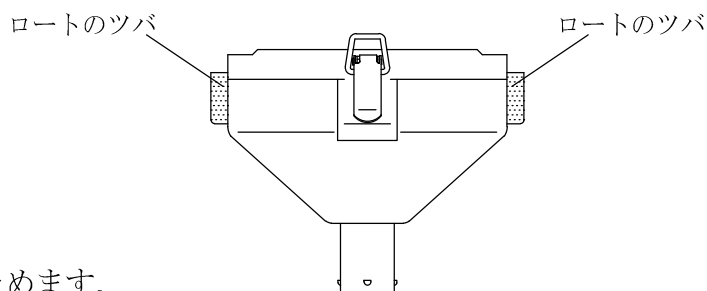
- (1) 六角穴付きボルトをゆるめ、六角カップリングを左右にずらし、ロールを外します。
(六角レンチ 5 mm 使用)



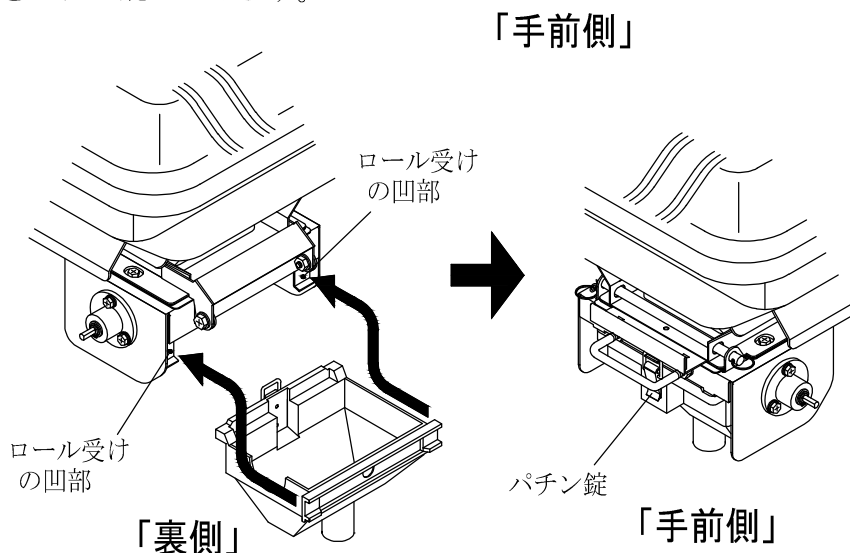
- ※ ロールをセットするとき、ロールのツバが両側ともステンレス側板の外側になるように注意して下さい。
- ※ ロールをセットするとき、六角穴付きボルトは軸の平らな面に押付けて下さい。

■ ロートの取り付け・取り外し

- (1) ロール受け裏側にある凹部にロートのツバを入れます。



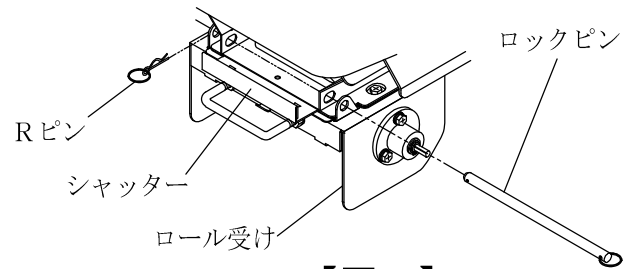
- (2) 手前をパチン錠で止めます。



■ 繰り出し部オープン機構の使い方（肥料散布部のみ）

ホッパーに残った肥料の排出や繰り出し部の掃除などメンテナンスをするときに便利な機能です。

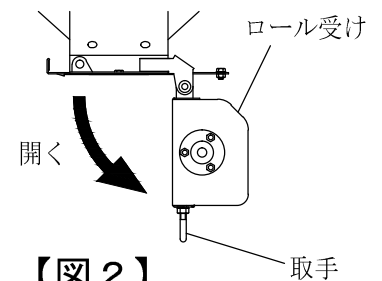
- (1) シャッターを閉めて、ロートを外します。
(ロートの外し方は、P.16 ロートの
取り付け・取り外しを参照)



【図 1】

- (2) ロール受けのロックピンとRピンを外します。(図1)

- (3) 取手を持って、ロール受けを図の様に開きます。(図2)

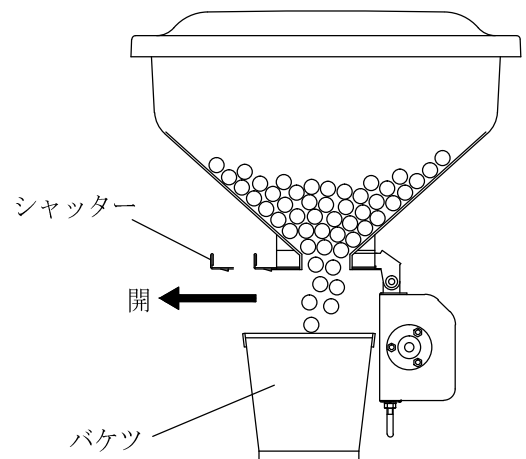


【図 2】

- (4) 図の様にバケツ等を準備し、シャッターを開いて肥料の残量を排出して下さい。(図3)
排出後はエアーコンプレッサー等で繰り出し部を掃除して下さい。

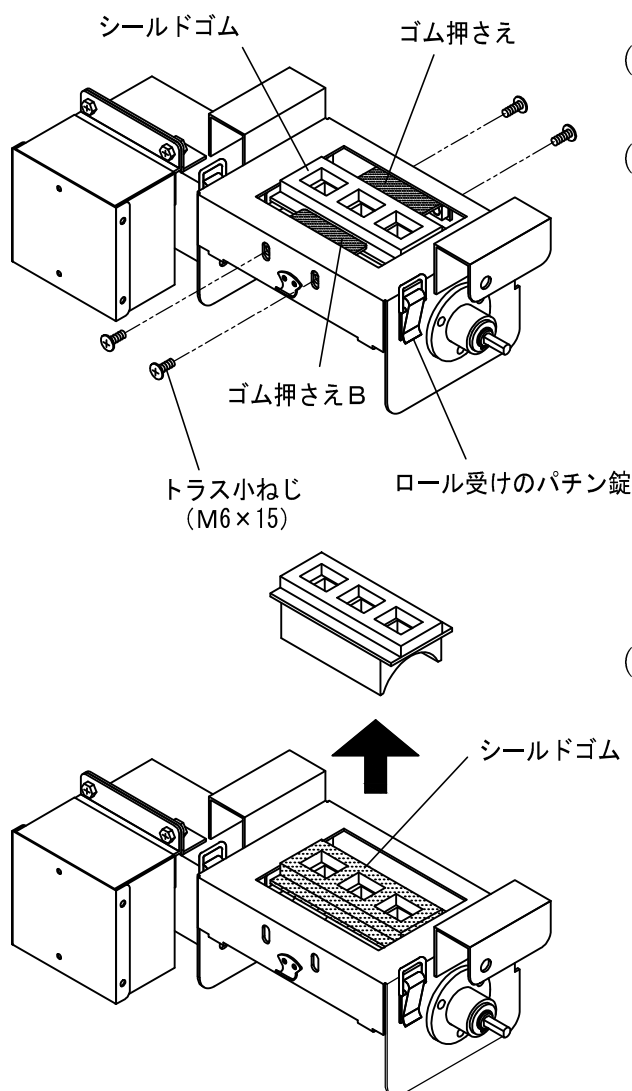
- (5) メンテナンス終了後は、逆の手順でロール受けを閉じて下さい。

※ メンテナンスの時以外は、必ずロックピンとRピンでロール受けを固定して下さい。



【図 3】

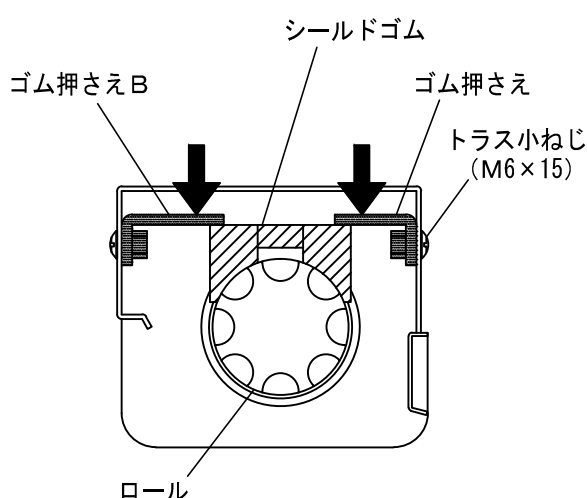
■ シールドゴムの外し方（薬剤散布部のみ）



- (1) ロートを取り外し、ロール受けのパチン錠を外してホッパーと分離します。
- (2) ゴム押さえを固定しているトラス小ねじを外し、ゴム押さえを外します。

- (3) シールドゴムを上引き抜きます。

■ シールドゴムの調整



※ 以下のような場合シールドゴムを調整します。

1. 掃除等のメンテナンスの後。
2. シールドゴムとロールの隙間から薬剤が漏れる。

- (1) ゴム押さえを矢印の方向に軽く押しながら、シールドゴムとロールが密着するようにして、トラス小ねじを締め付けます。

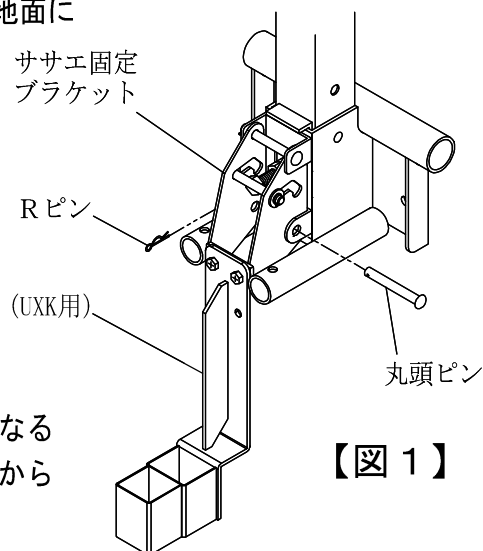
※ シールドゴムとロールの間に隙間があると薬剤が漏れますので注意して下さい。又、シールドゴムをロールに強く当てすぎるとモーターが過負荷になり回らなくなる場合があります。
軽く当たるように調整して下さい。

■ あぜごえ跳ね上げ機構

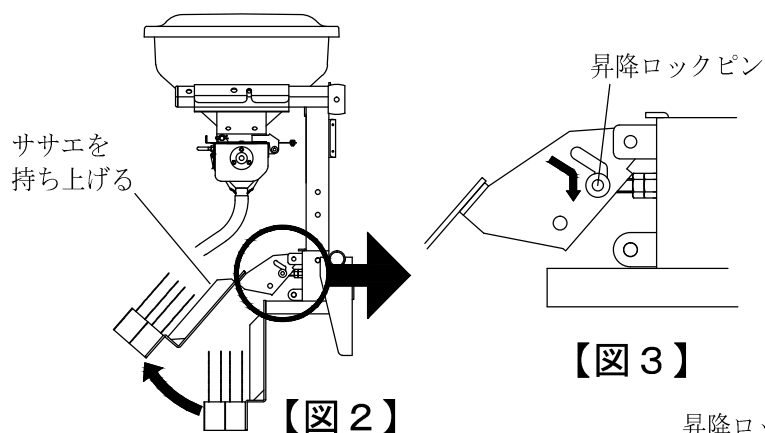
圃場間の移動や畦を乗り越える際に、ササエ（UXK用）が地面にぶつからない様にする機能です。

- (1) ササエ固定ブラケットを固定している丸頭ピンとRピンを外します。(図1)
- (2) ササエ（UXK用）を持ち上げると、昇降ロックピンが下に移動し、拡散器を持ち上げた状態でロックすることができます。(図2)(図3)

※ アームを低い位置で組み付けているときや、ホースの長さが短いと、ササエ（UXK用）が持ち上げ難くなることがあります。そのときは、ホースをササエ（UXK用）から外してから、跳ね上げ機構を使用して下さい。(図4)

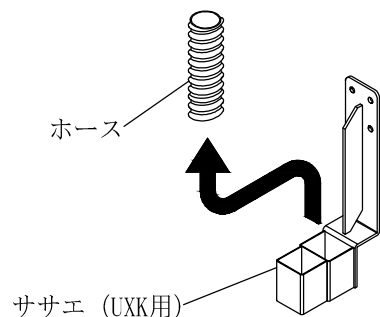


【図1】



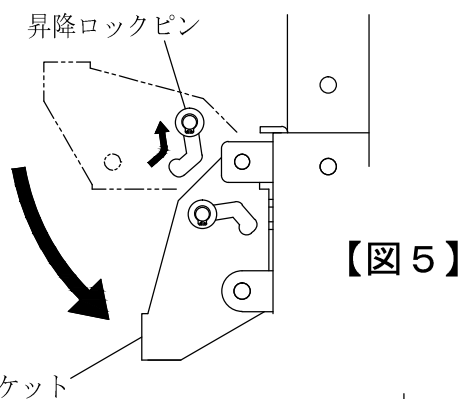
【図2】

【図3】



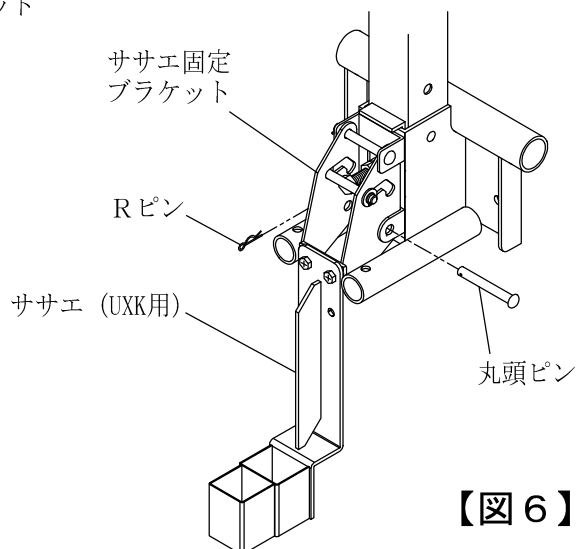
【図4】

- (3) 拡散器を元の位置に戻すときは、ササエ（UXK用）を軽く持ち上げてから、昇降ロックピンを矢印の方向に移動し、ササエ固定ブラケットを元の位置に戻します。(図5)



【図5】

- (4) ササエ（UXK用）がグラつかない様に、ササエ固定ブラケットの下穴に丸頭ピンを差し込んでRピンで固定して下さい。(図6)



【図6】

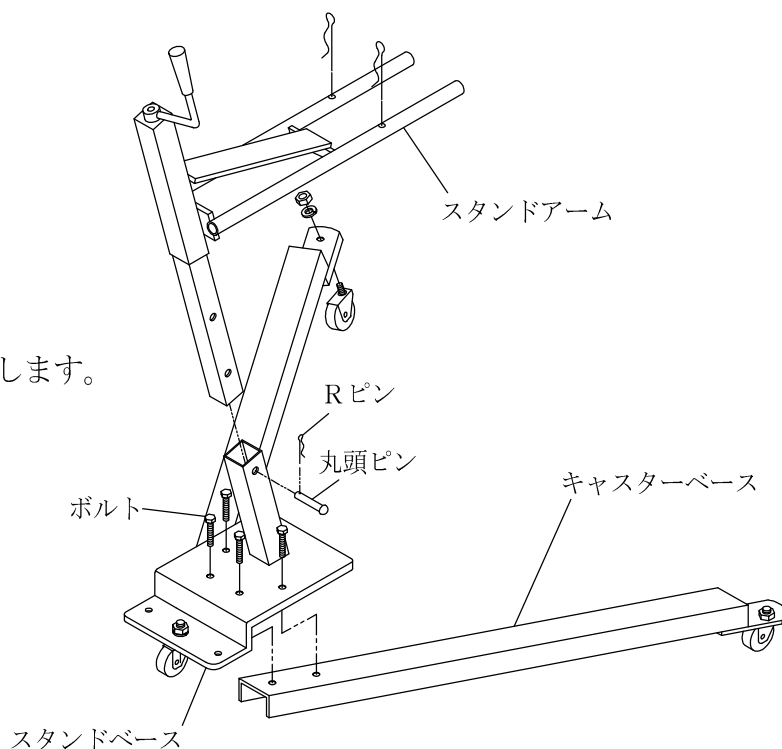
■ スタンドの使用法

- (1) キャスターベースをスタンドベースに取り付けて下さい。
- (2) スタンドアームをスタンドベースに差し込んで、トラクタのバンパーの高さに合わせて固定して下さい。
- (3) 各中継コードと本体線のコネクタを外します。

- (4) 薬剤散布側のコントロールボックスのコネクタを外します。

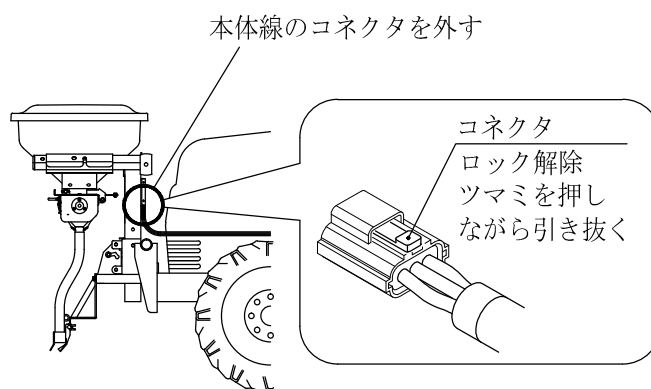
※ コネクタを外すときは、無理に引っ張らずロック解除ツマミを押しながら引き抜いて下さい。

※ トラクタ本体側の外した配線は、車輪などに巻き込まれないように固定しておいて下さい。



- (5) 薬剤散布部のホッパーユニットを外します。

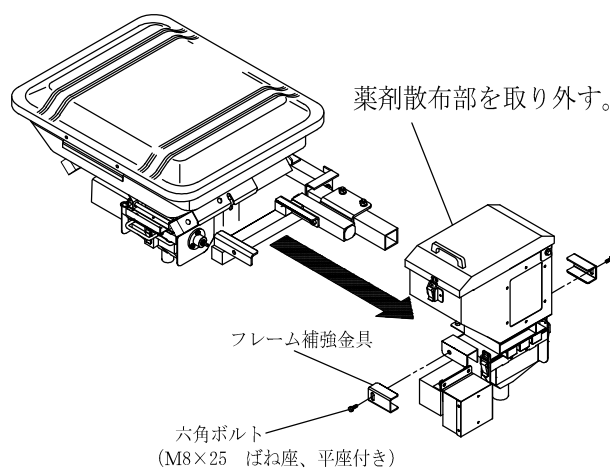
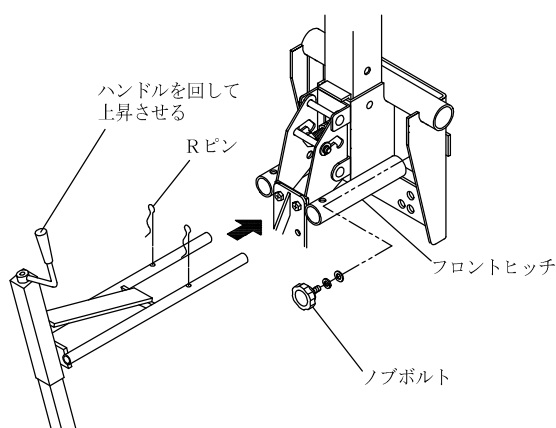
※ 複合散布機のバランスが悪いため、スタンドを使用する際には薬剤散布部を取り外してからご使用して下さい。



- (6) フロントヒッチのノブボルトを外します。

- (7) スタンドアームをフロントヒッチに差し込み、Rピンで固定します。

- (8) スタンドアームのハンドルを回して散布機本体を上昇させて、トラクタから外して下さい。



■ 使用後の管理

A. その日の作業が終わった時（点検や掃除の際は必ずスイッチを切って下さい。）

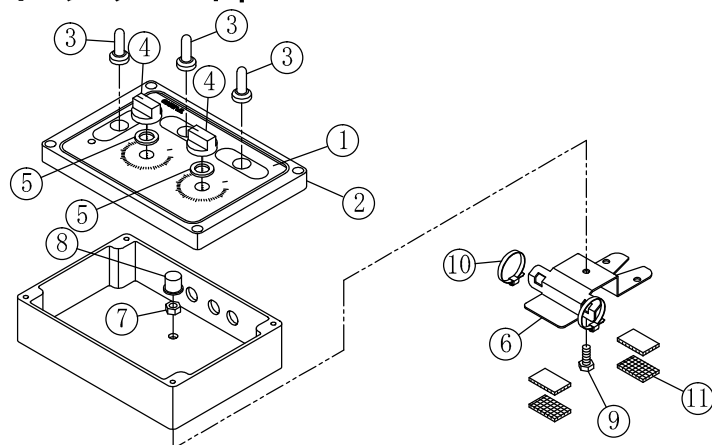
- (1) 散布目盛を10にしてローンを回転させる。（肥料散布部、薬剤散布部）
繰り出し部オープン機構(P.17参照)を使用して、ホッパー内に残った肥料を完全に排出して下さい。（肥料散布部）
- (2) ホースに付着した肥料・薬剤・泥土は、よく取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部及びブラシ、ローン等の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨・夜露等水がかからないように十分注意して下さい。
- (4) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。（肥料散布部）
薬剤散布部の場合は、ホッパー側面のパチン錠を締めて下さい。

B. 全作業が終わった時（配線のコネクターを外して下さい。）

- (1) ホッパーの内外をよく清掃して下さい。（水洗いはしないで下さい。）
水がかかった場合は完全乾燥させて下さい。
- (2) ロートを外すとブラシが見えますので、ブラシの間に残った肥料をよく取り除いて下さい。
また、繰り出し部オープン機構を使用すると掃除がし易くなります。（P.17参照）
- (3) フレーム等に付着した肥料・薬剤をよく落として下さい。
- (4) ロート及びホースを外し、付着した肥料・薬剤をよく取り除いて下さい。
- (5) ローンを外し、付着した肥料・薬剤をよく取り除いて下さい。
- (6) コントロールボックスなど電気部品に水がかからないように注意して下さい。
- (7) ホースを丸めるとクセが付きますので、まっすぐにした状態で保管して下さい。
- (8) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。（肥料散布部）
薬剤散布部の場合は、ホッパー側面のパチン錠を締めて下さい。

※ 肥料等の散布剤は、強い酸性を有していますので、掃除は念入りに行い完全に乾燥させて下さい。

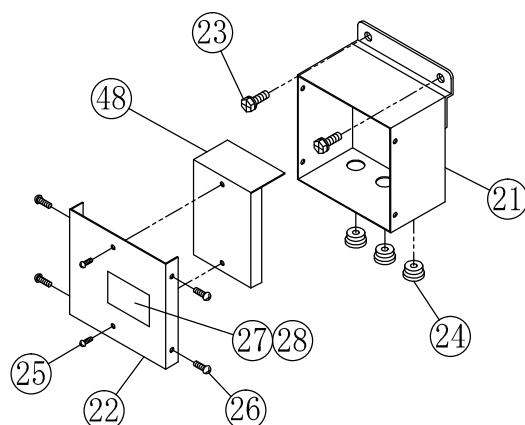
■ スイッチボックス部



■ 部品表 スイッチボックス部

No.	部 品 名	員数
1	スイッチボックスシール (2 モーター)	1
2	スイッチボックス (U X 1 4 0)	1
3	防水キャップ (WD1811B)	3
4	ツマミ K-90-L	2
5	ツマミ座	2
6	スイッチ取付座	1
7	六角ナット M6	1
8	ナットキャップ M6 用	1
9	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×12	1
10	ステンレスバンド (W2-SX-T9-20)	2
11	マジックテープ	4

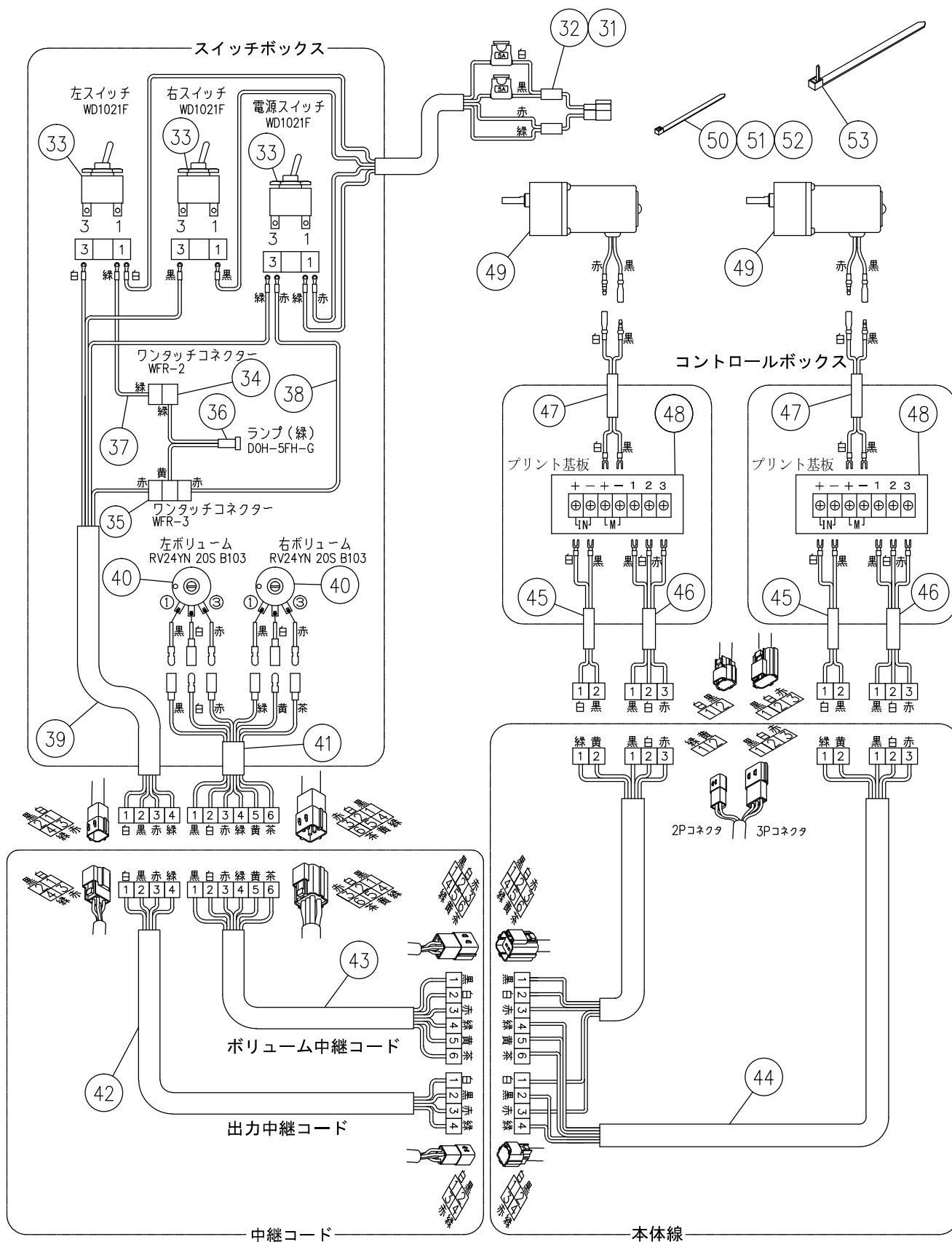
■ コントロールボックス部



■ 部品表 コントロールボックス部

NO.	部 品 名	員数
21	コントロールボックス	2
22	コントロールパネル F	2
23	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15	4
24	グロメット B8-1	6
25	ばね座金組込み十字穴付きなべ小ねじ M3×6 SUS	4
26	十字穴付きタッピンねじ M4×10 トラス 1種	8
27	製造シール (TE-37-340) ※肥料散布側	1
28	注意シール (No. TE39016) ※薬剤散布側	1

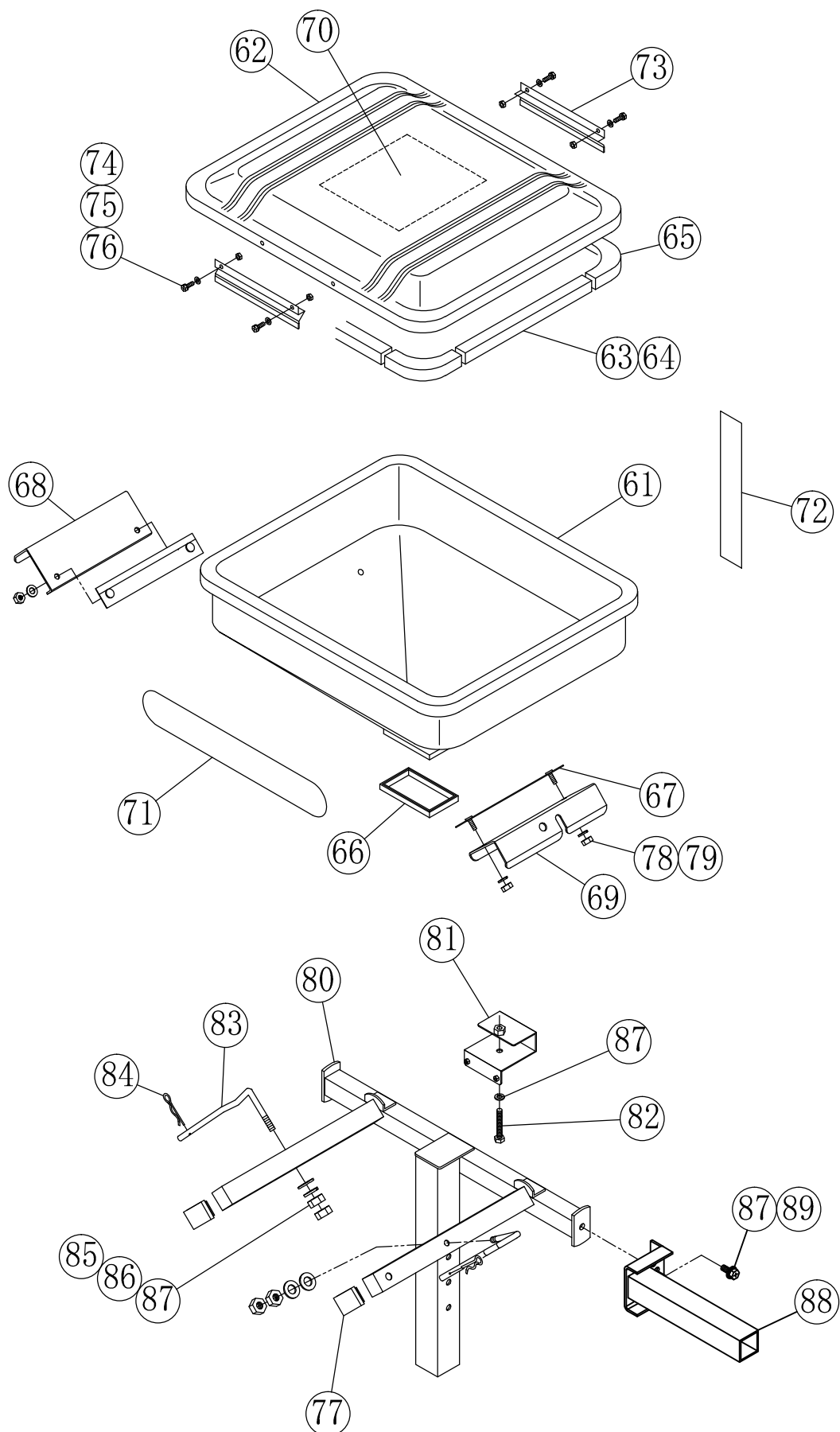
■ 電装部



■ 部品表 電装部

NO.	部 品 名	員数
31	電源入力コード (TD-37-647)	1
32	ヒューズ 5A	4 (予備2個)
33	トグルスイッチ (WD1021F)	3
34	ワンタッチコネクタ (WFR-2)	1
35	ワンタッチコネクタ (WFR-3)	1
36	ランプ (緑)	1
37	渡り線A (TD-37-683-A)	1
38	渡り線B (TD-37-683-B)	1
39	出力コード (TD-37-648)	1
40	ボリウムAssy	2
41	ボリウムコード (TD-37-681)	1
42	出力中継コード (TD-37-649)	1
43	ボリウム中継コード (TD-37-682)	1
44	本体線 (TD-37-704)	1
45	電源線F (コネクタ付き)	2
46	ボリウム線 (コネクタ付き)	2
47	モーター線 (L300)	2
48	基板ユニット	2
49	ギヤードモーター 16W	2
50	インシュロックタイ AB-100	6
51	インシュロックタイ AB-150	3
52	インシュロックタイ AB-250	5
53	リリースタイ RELK-2R	20
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		

■ ホッパー部及びアーム部〔肥料散布部〕



■ 部品表 ホッパー部及びアーム部〔肥料散布部〕

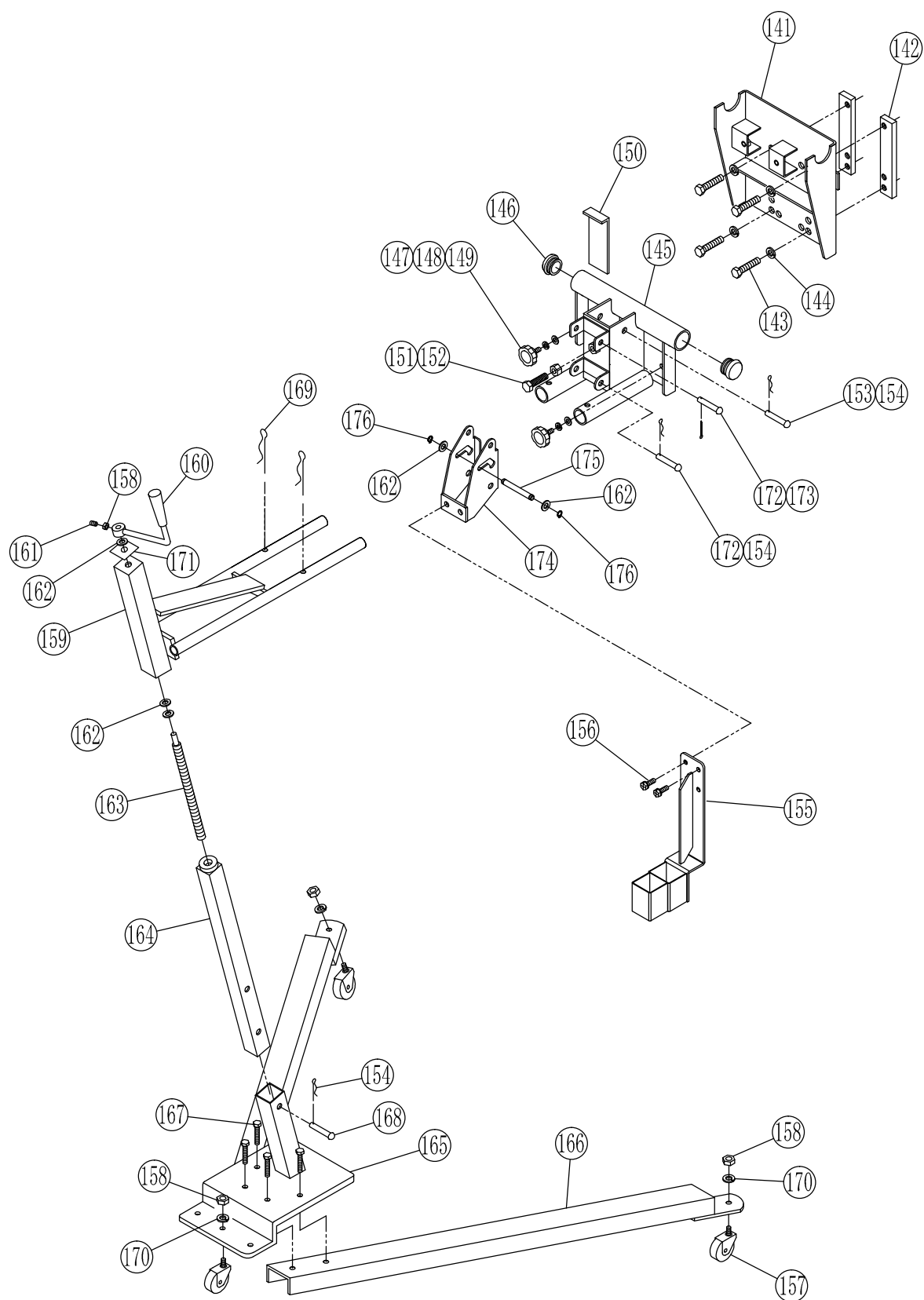
NO.	部 品 名	員数
61	ホッパー55（パチン錠穴無し、コントローラー穴無し）	1
62	フタ 55（パチン錠穴無し）	1
63	エプトシール（t5×20×305）	2
64	エプトシール（t5×20×455）	2
65	エプトシール（コーナー用）	4
66	パッキン 50	1
67	ホッパー固定座	2
68	ホッパー金具A	1
69	ホッパー金具B	1
70	散布量表	1
71	メインシール 55用	1
72	容量目盛りシール 55用	1
73	フタストッパー	2
74	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×10 SUS	4
75	平座金 M6用 SUS	8
76	六角ナット M6 SUS	4
77	角中栓 □40	2
78	ばね座金 M8用 SUS	4
79	六角ナット M8 SUS	4
80	アーム 55F/R	1
81	ボックス取付台（□40用）	1
82	六角ボルト M10×65	1
83	ホッパー固定ネジ	2
84	Rピン φ10	2
85	六角ナット M10	4
86	平座金 M10	2
87	ばね座金 M10	4
88	U X取付金具	1
89	六角ボルト M10×35	1
90		



■ 部品表 ロール部〔肥料散布部〕

NO.	部 品 名	員数
91	ロール受け下A (パチン錠ツメ付)	1
92	ロール軸受け	1
93	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15 SUS	3
94	平座金 M6用 SUS	3
95	ロックピン (リング付)	1
96	Rピン (リング付)	1
97	ばね座金平座金組込み十字穴付き六角ボルト M4×15 SUS	4
98	Vリング	1
99	モーターカバー	1
100	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15	4
101	ロール受け固定座	2
102	平座金 M8用 SUS	6
103	ばね座金 M8用 SUS	6
104	六角ナット M8 SUS	6
105	シャッター	1
106	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×10 SUS	1
107	六角ナット M6 SUS	1
108	ブラシユニット120 (ナイロン)	2
109	ばね座金平座金組込み十字穴付きなべ小ねじ M4×6 SUS	4
110	ロールユニット 4×20	1
111	六角カップリングロング	2
112	六角穴付きボルト M6×6 SUS	2
113	注意シール (TE-37-339)	1
114	ロール受け上	1
115	ロール軸 φ12	1
116	平座金 M12用 SUS	2
117	C形止め輪 φ12軸用 SUS	2
118	ロール受けプレート	1
119	六角ボルト M8×25 (細目)	2
120	六角ナット M8 (細目)	4
121	皿ばね座金 呼び8 1種 (軽荷重) 1L	2
122	平座金 M8用	4
123	取手	1
124	ばね座金 M8用	2
125	六角ナット M8	4
126	平座金 M6用	2
128	型式シール UX-55F (TE-37-356)	1
129	L字パッキン	2
130	ロート1口	1
131	ホース (内径φ38.1) L1000	1
132		
133		
134		
135		
136		
137		
138		
139		
140		

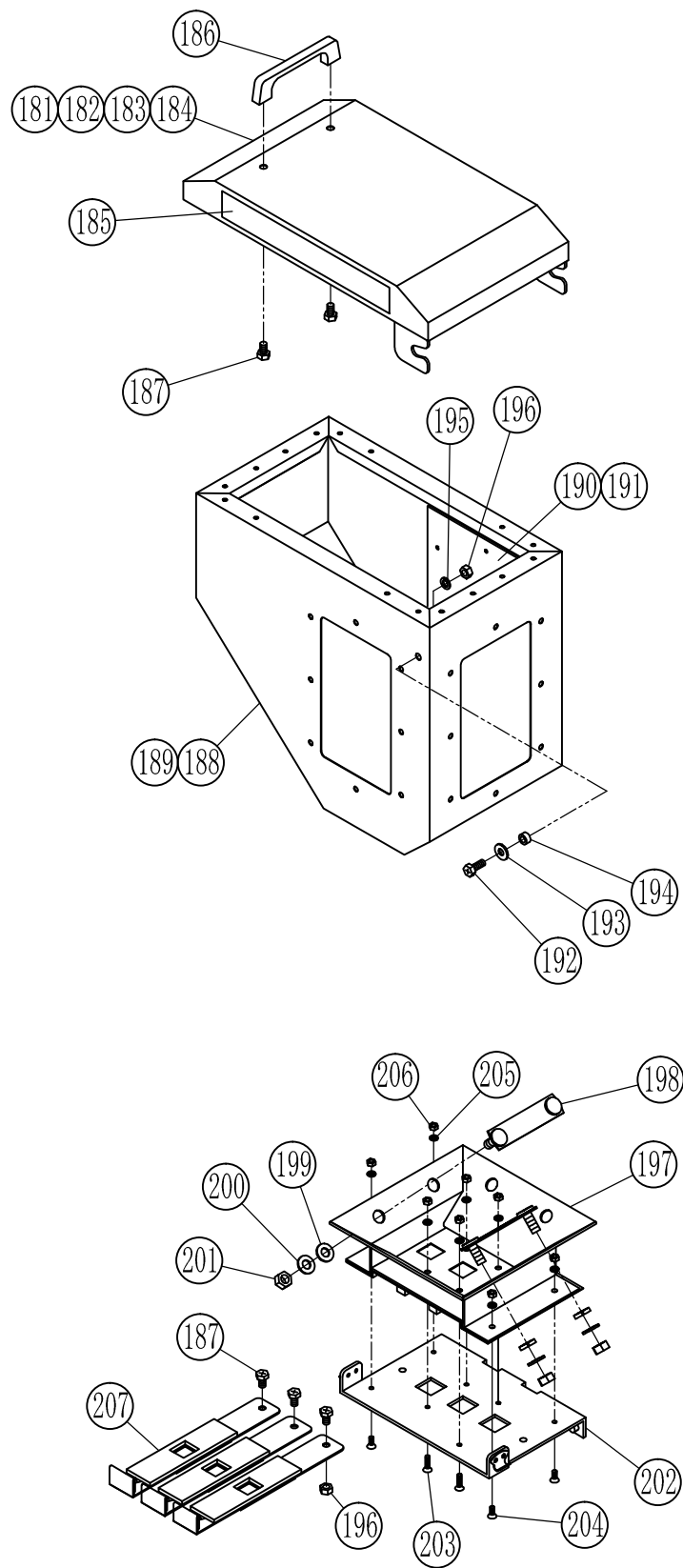
■ フロントヒッチ部及びフロント用スタンド部 〔肥料散布部〕



■ 部品表 フロントヒッチ部及びフロント用スタンド部 〔肥料散布部〕

NO.	部 品 名	員数
141	バンパーブラケット	1
142	ブラケットホルダー	2
143	六角ボルト M12×55	4
144	ばね座金 M12用	4
145	フロントヒッチ 55、70 (UX)	1
146	丸中栓 φ42.7	2
147	ノブボルト M8×20 SUS	2
148	ばね座金 M8用 SUS	2
149	平座金 M8用 SUS	2
150	当て板	1
151	六角ボルト M12×45	1
152	六角ナット M12	1
153	丸頭ピン φ10×85	1
154	Rピン φ10用 B形	3
155	ササエ (UXK用)	1
156	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×20	2
157	キャスター L T-50-BN M8 P1.25	3
158	六角ナット M8	4
159	スタンドアーム□40	1
160	ニギリハンドルアッシ	1
161	六角穴付き止めねじ M8×20 とがり先	1
162	平座金 M10用	5
163	ネジシャフト M16 左	1
164	中柱□35	1
165	スタンドベース□40	1
166	キャスターベース	2
167	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×25	4
168	丸頭ピン φ10×50	1
169	Rピン φ22用	2
170	ばね座金 M8用	3
171	回転方向シール (TE-37-285)	1
172	丸頭ピン φ10×80	2
173	割りピン φ2.5×L20	1
174	ササエ固定ブラケット	1
175	昇降ロックピン	1
176	C形止め輪 φ10軸用	2
177		
178		
179		
180		

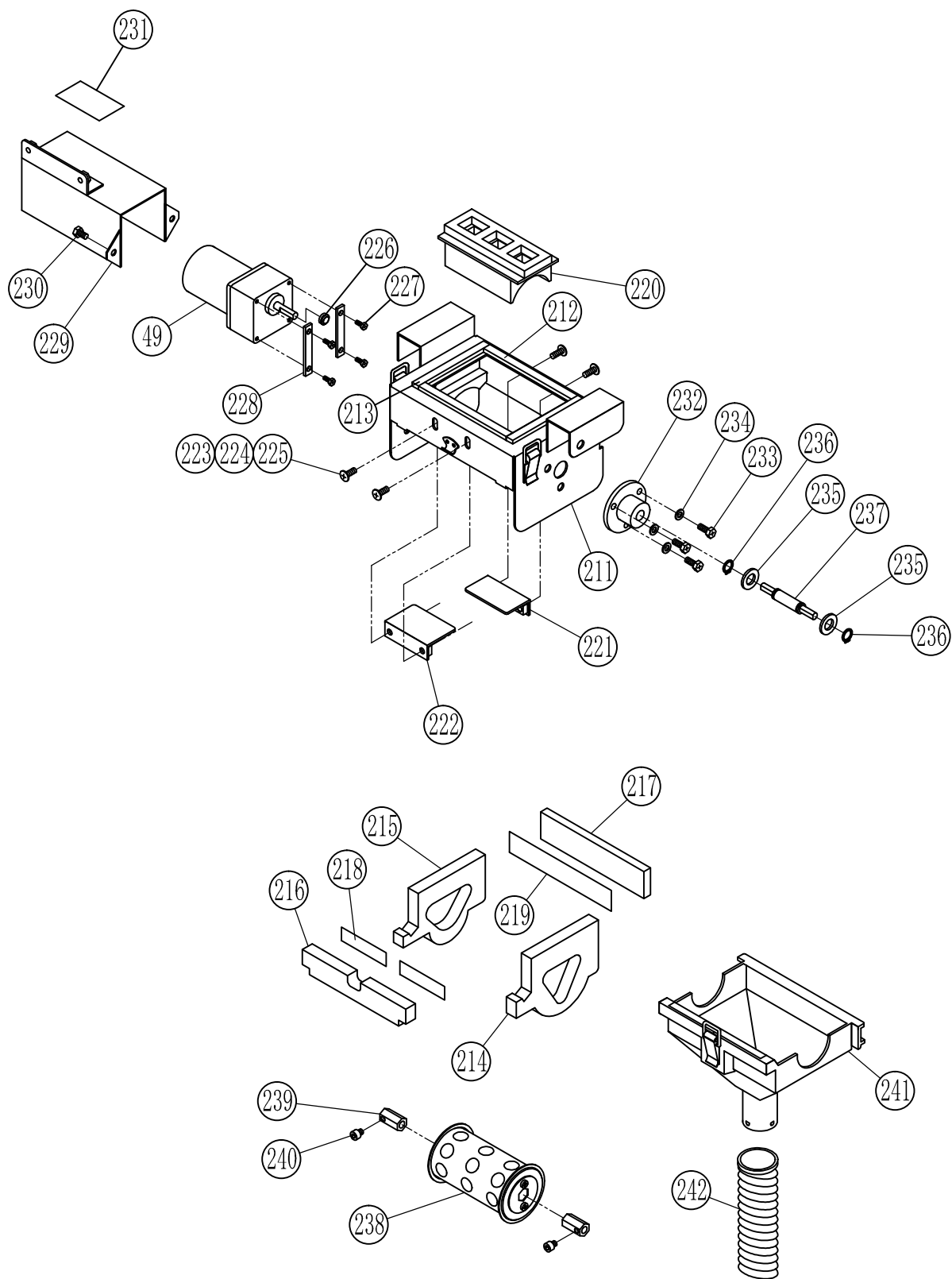
ホッパー部〔薬剤散布部〕



■ 部品表 ホッパー部〔薬剤散布部〕

No.	部 品 名	員数
181	フタ100（パチン錠ツメ付）	1
182	エプトシール（t25×20×320）	2
183	エプトシール（t5×20×174）	1
184	エプトシール（t5×20×190）	1
185	メインシール（KX-10）	1
186	取手	1
187	ばね座金組込み十字穴付きボルト M6×10 SUS	5
188	ホッパー100（パチン錠付、フェルト付）	1
189	フェルトパッキン	2
190	窓板100用	3
191	十字穴付きタッピンねじ M4×6 なべ2種 SUS	24
192	十字穴付き六角ボルト M6×15 SUS	2
193	平座金(大)M6外径φ15.5(SUS)	2
194	フタカラー	2
195	ばね座金 M6用 SUS	2
196	六角ナット M6 SUS	5
197	ホッパー金具	1
198	ロール受け固定(フェルト付)	2
199	平座金 M8用 SUS	4
200	皿ばね座金 呼び8 1種 軽荷重 (1L) SUS	4
201	六角ナット M8 SUS	4
202	シャッター金具（パチン錠ツメ付）	1
203	十字穴付き皿小ねじ M4×15 SUS	4
204	十字穴付き皿小ねじ M4×10 SUS	4
205	ばね座金 M4用 SUS	8
206	六角ナット M4 SUS	8
207	シャッター	3
208		
209		
210		

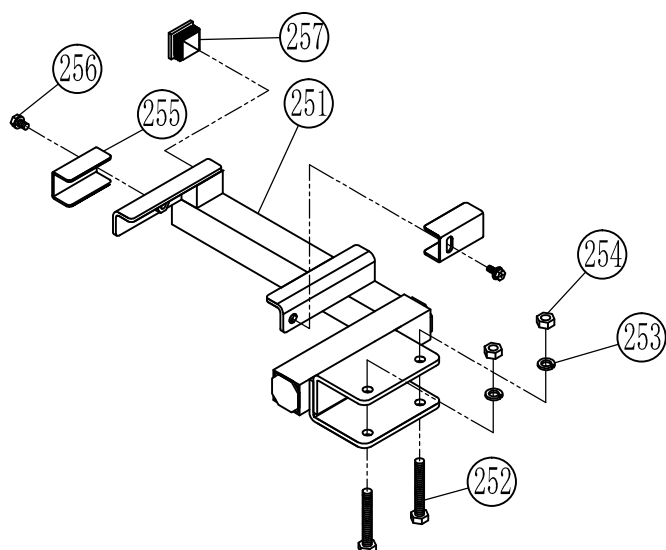
ロール受け部〔薬剤散布部〕



■ 部品表 ロール受け部〔薬剤散布部〕

No.	部 品 名	員数
211	ロール受け（パチン錠&ツメ付）	1
212	エプトシール（t5×10×135）	2
213	エプトシール（t5×10×110）	2
214	ロール受けパッキン（右）	1
215	ロール受けパッキン（左）	1
216	ロール受けパッキン（前）	1
217	ロール受けパッキン（後）	1
218	両面テープ（ロート受けパッキン前用）18×69	2
219	両面テープ（ロート受けパッキン後用）28×157	1
220	シールドゴム	1
221	ゴム押さえ	1
222	ゴム押さえB	1
223	十字穴付きトラス小ねじ M6×15	4
224	平座金 M6用	4
225	ばね座金 M6用	4
226	Vリング	1
227	ばね座金平座金組込み十字穴付き六角ボルト M4×15 SUS	4
228	モータースペーサー	2
229	モーターカバー	1
230	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×10	2
231	製造シール(KX-10)	1
232	ロール軸受け	1
233	ばね座金組込み十字穴付きボルト M6×15 SUS	3
234	平座金 M6用 SUS	3
235	平座金 M12用 SUS	2
236	C形止め輪（軸用）φ12用 SUS	2
237	ロール軸 φ12	1
238	ロールユニット SR8×3列	1
239	六角カップリング	2
240	六角穴付きボルト M6×6 SUS	2
241	ロート1口	1
242	ホース（内径φ38.1）L1000	1
243		
244		
245		
246		
247		
248		
249		
250		

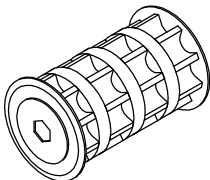
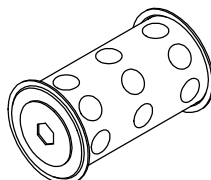
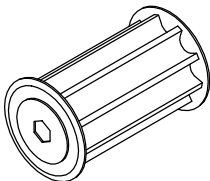
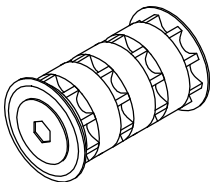
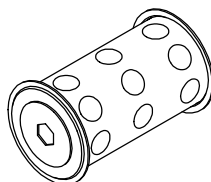
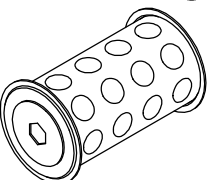
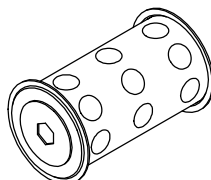
■ フレーム部〔薬剤散布部〕



■ 部品表 フレーム部〔薬剤散布部〕

No.	部 品 名	員数
251	たて取付フレーム（□50用）	1
252	六角ボルト M10×80	2
253	ばね座金 M10用	2
254	六角ナット M10用	2
255	フレーム補強金具	2
256	ばね座金平座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×25 SUS	2
257	角中栓 □40× t 2.3用 黒	1
258		
259		
260		

■ 散布ロール（オプション）

機械 ロール	肥料散布部 (ロール数 1)	薬剤散布部 (ロール数 1)
標準	4列×20mm (20～150 k g) 	3-深さ12mm (10～50 k g) 
大量	110mm (30～205 k g) 	
少量	4列×11mm (11～83 k g) 	3-深さ8mm (5～25 k g) 
微粒	4-深さ9.6mm (10～50 k g)  専用アダプター付き	3-深さ4.5mm (1.7～8.4 k g) 

- ※ 出荷時は標準ロールが装着されています。
- ※ 大量・少量・微粒ロールはオプションになります。
- ※ 列数×ロール溝幅または、列数-ロール溝深さ（例：4列×20mm、3-深さ12mm）
- ※ 微粒散布ロールは微粒剤専用になります。（粉状は散布できません。）【肥料散布部のみ】
- ※ 微粒散布ロールは専用アダプター付きです。【肥料散布部のみ】
- ※ 散布量の表示は、10 a 当りで作業時間30分を基準にしています。
- ※ 電源取出し（バッテリー）用延長コードをオプションで用意しています。（P. 10 参照）

■ 故障の原因と対応について

肥料散布機の動作がおかしい時、以下の項目に沿って故障の原因を探して下さい。

※ コネクターの差込み不良や接触不良も動作不良の原因になるので確認して下さい。

トラブル 内容	考えられる 原因	お客様にご確認して いただきたい事項
ヒューズが 切れる	ケーブルの ショート	車輪での巻き込みやペダルでの圧迫によりショートしていませんか？ショート部分を修復して、巻き込まれない位置にケーブルを通して下さい。
	ホッパー内散布物の しまり	散布物を事前に投入して、シャッターを開けたまま路上走行していませんか？肥料の投入は圃場で行って下さい。
	ロール軸の固着 残存散布物の固着	ロールやロール軸に散布物が固着していませんか？ロートを外してロール周りの散布物を掃除して下さい。ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
	モーター不良	過負荷要因を取り除いた後、モーターに12Vを直結してもモーターが作動しない場合は、モーターを交換します。
モーターが 回らない (電源ランプは 消えている)	ヒューズ切れ	ヒューズが切れていませんか？指定された容量のヒューズに交換して下さい。（原因を取り除く） (ヒューズ容量 5A)
	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？端子の腐食を磨いてネジをしっかり締めて下さい。
	バッテリー端子の 逆接続	バッテリー端子の⊕⊖を逆につないでいませんか？正しくつなぎ直して下さい。
	ケーブルの 断線	車輪などに巻き込まれてケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで巻き込まれないようにケーブルを通して下さい。
電源スイッチを 入れるとランプが 暗くなる	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？端子の腐食を磨いてネジをしっかり締めて下さい。
モーターが 回らない (電源ランプは ついている)	ケーブルの 断線	スイッチボックスからコントロールボックスの間でケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで、巻き込まれないようにケーブルを通して下さい。
	ロール軸の固着 残存散布物の固着	ロールやロール軸に散布物が固着していませんか？ロートを外してロール周りの散布物を掃除して下さい。ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
散布量の調節が 出来ない	散布ロールの 溝詰まり	ロールの溝の中に散布物が詰まっていますか？ロートを外してロールの溝を掃除して下さい。
散布物がうまく まけない	大径肥料や湿った 散布物の使用	大径肥料や湿った散布物を使用していませんか？ロールの溝幅を超えるものや湿ったものは散布できません。

■ 仕様諸元

型 式	U X K - 5 5 F 1 0	
	肥料散布部	薬剤散布部
全幅（mm）	1000	
奥行（mm）	600	
重 量	48kg	
ホッパー容量	55リットル	10リットル
適応トラクタ	15PS以上	
取 付 方 法	バンパー取付	
電 源	トラクターバッテリー	
動 力	DC12V 16Wギヤードモーター	
モーター個数	1 個	1 個
散 布 方 法	ロール繰り出し散布	
量 調 節	ダイヤル目盛設定	
散 布 量	20～150 k g /10a	10～50 k g /10a
散 布 対 象	粒状化成（2～4mm） 砂状 （ケイカル、ヨウリン、土壌改良剤等）	微粒剤 （バスアミド、ネマトリンエース、ダーズバン） ※ビーラム粒剤、ネビリュウは散布不可 ※粉剤などのブリッジする者は散布不可
	有機ペレット（10mm以下） （大量散布ロール使用時）	
付 属 品	専用スタンド（キャスター付き）	

※ 散布量については本書「散布量目盛の決め方」の項を参照して下さい。

※ 散布量は、シャッターがすべて開いた時の数値になります。

※ ホッパー容量はリットル表記です。薬剤や肥料の比重により表示通り入らない場合があります。

※ 仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。